



公益財団法人大阪YWCA

2018年度（平成30年度）

（2018年4月1日～2019年3月31日）

事 業 報 告

はじめに

女性の自立支援と学びの場の提供を目指して創立された大阪YWCAは、2018年に100周年を迎えることができました。色々な形で導き、お支えくださった皆様に厚くお礼を申し上げます。2016年度から準備を重ねてきた100周年記念事業。信仰と祈りの地、五島列島を訪ねた記念旅行、熊本マリさんのピアノの音色を満喫した記念コンサート、「若い女性のエンパワメント」という設立の原点に立ち返って取り組んだガールズ・パワーアップ・プロジェクト、そして、100年の歩みを見つめなおし綴った記念誌の発行。それぞれのプログラムを企画しながら、参加しながら、多くの先輩方の努力と愛と祈りによって育まれてきたことを改めて実感する1年でもありました。

1969年にスタートし、現在の大阪YWCAを支えるまでに育った日本語教育事業を取り巻く状況は社会の在り様と共に、大きな変化の時を迎えています。専門学校日本語学科は、非漢字圏の学生が増える中、日本語力の底上げと共に、早い段階からの進路指導や学生個々の状況に応じた生活相談などに取り組んでいます。日本語教師養成講座は、これからの多文化共生社会を見据えて大幅なカリキュラム変更を行いました。日本語教師会には企業からの講師派遣の依頼が増加、上級ビジネス日本語のカリキュラム作成にも着手しました。中国帰国者支援事業は、一世の平均年齢が75歳を越える中、これまでの日本語学習や就労支援に加え、中国語による「語りかけボランティア」派遣など、高齢化に対応する事業のウエイトが増え、地域と連携したプログラムも求められています。今後も、これまで積み重ねてきた実績とネットワークを元に、YWCAらしさを大切にしつつ、社会に求められる事業を展開していきたいと考えています。

2005年に開設したDV被害女性のための中長期支援施設「大阪YWCAステップハウス」は、2018年度末をもって活動を終結することとなりました。10年以上にわたって続けることができたのは、利用者の方々との出会いと交流、そして多くの方から送られたあたたかいご寄付やお気持ちのこもった物資支援があったからこそだと感じています。本当にありがとうございました。今後は、様々な女性へのエンパワメントを推進することができるような取り組みを続けていきたいと考えております。まだまだ模索が続いていますが、今後ともご理解、ご協力をいただければ幸いです。

大阪YWCAは、1918年の創立以来、「より良い社会を作り出すための人材の養成」を一貫して行って参りました。これからもその姿勢を変えることなく、一人ひとりが、その人らしく生きていくことのできる社会づくりを目指して、101年目からも歩みを進めて参ります。

皆さま方のご支援、ご指導に深い感謝を込めて、2018年度の事業報告をお届けいたします。

公益財団法人大阪YWCA

常務理事 中山 羊奈

目 的

キリスト教の基盤にたち、女性と青少年の力を集め、リーダーシップを養成し、すべての人にとっての正義・平和・健康・尊厳・自由・持続可能な環境を実現することを目的とする。

基 本 方 針

1. 非核・非暴力による平和の実現のために積極的に行動する
2. 多様性を認め合い、出会いの中で育ち合い、変革を担う人材を育成する

ビジョン 2020

大阪YWCAは、より良い社会の実現のために働く人を育て、女性のあらゆるライフステージの課題に包括的に取り組みます。

この10年は、「子ども・女性・非暴力による平和」をテーマに掲げて活動します。

YWCAが10年後に実現していきたい社会はこんな社会です。

<子ども>

★子どもたちが多様な人と出会い、ありのままを認めあえる場がある社会

★すべての子どもたちの将来へのチャンスが保障され、自律的に生きることのできる社会

<女性>

★すべての女性が、自分自身の生き方を決定し、力を発揮することのできる社会

<非暴力による平和>

★憲法の非武装・平和の精神があらゆる世代に浸透し、生活の中に根付いている社会

2018 年度標語

「平和、平和、遠くにいる者にも近くにいる者にも」

イザヤ書 57 章 19 節より

大阪YWCA創立100周年記念事業

女性が切り拓いてきた100年、みんなで創っていく100年
～一人ひとりが大切にされる社会の実現を目指してチャレンジは続きます。～

2014年度より実行委員会を立ち上げて準備をすすめてきた創立100周年の記念行事は、11月3日の記念式典をもって、すべて無事に終了した。

記念式典は、リーガロイヤルホテルにて11月3日に開催。会員、賛助員を中心に、支援者、関係団体代表など148名の出席を得て、和やかににぎやかに行われた。記念礼拝では渡邊さゆり牧師よりメッセージをいただいた他、実生律子日本YWCA代表理事をはじめ来賓からのお祝いメッセージや、記念事業の報告、100年のあゆみのビデオ上映、会員歴50年以上の会員への感謝とすすみ、小澤裕子会長のあいさつで終了した。

100周年記念募金は、2017～2018年度の2年にわたり、1000万円を目標に実施。会員、賛助員ほか、多くの個人、法人、団体の皆さまのご支援をいただき、目標を大きく上回る結果となった。心よりお礼を申し上げたい。次の100年に向けて心新たに、そして真摯に活動を続けていきたい。

＝100周年記念募金＝

目標額：10,000,000円 達成額：12,825,067円
温かいご支援、ご協力をありがとうございました。

(1) 年史小委員会

100周年記念誌編集委員会が発足してから3年余り、記念式典になんとか間に合い完成することができた。この間、残された膨大な資料や写真をたどり、大阪YWCAの100年の歩みを振り返る機会を与えられた。50年史「年輪I」と80年史「年輪II」と合わせると、大阪YWCAの歩んで来た道のがたどれるように編集を重ねた。

内容としては、座談会、大阪YWCAを支えた先輩たちの紹介、100年の歩み、会員や関係者から寄せられた100文字メッセージ、年表で構成され、内外の多くの方の協力を得た。100年の歩みについては、過去の2冊の年史を踏まえつつ、大阪YWCAが取り組んできた課題別に項目を立て、特に創立80周年以降の歩みに重点を置いて編集した。また、社会福祉法人キリスト教女子青年福祉会の歩みについても一項を設けて記録した。

A4版100ページ、1,600部を発行した。



(2) 旅行小委員会

4月に「長崎五島列島の教会群を巡る旅」(3泊4日)を開催、27名が参加した。水上タクシーなどでの移動もあり、天候等の心配も多かったが、すばらしいガイドにも恵まれ、美しい教会と自然を満喫する旅となった。また、2015年からの活動の記録をまとめた旅行小委員会活動報告書『見たい』『知りたい』『会いたい』『食べたい』を発行。イラスト、エッセイ、俳句、写真などを寄稿してもらい、多くの方の協力を得て完成させることができた。旅行参加者の他、100周年記念式典でも配布した。

(3) イベント小委員会

イベント小委員会は、9月29日にピアニストの熊本マリを迎え、ザ・フェニックスホールにて100周年記念コンサートを開催した。250名を超える参加者を得ることができ、エネルギーで力強い演奏と楽しいトークを心ゆくまで楽しんだ。

(4) ガールズ・パワーアップ・プロジェクト

2016年度より始動したガールズ・パワーアップ・プロジェクトでは、①ガールズとビッグシスターズのためのリーダーシップ養成講座 ②アジア太平洋の若い女性リーダー養成事業 ③若い女性の国際フォーラムの3つの事業を実施した。

①ガールズとビッグシスターズのためのリーダーシップ養成講座

2016年度より、中学生からおおむね25歳までの女性がリーダーシップやファシリテーションの基礎を学ぶ連続講座を開催しており、今年度は最終講座として、18歳～おおむね25歳までを対象とした「ファシリテーター養成講座Ⅲ」を実施した。連続講座の参加者の中から、国際フォーラムの一部企画や、プログラムの中でファシリテーターの役割を担うリーダーを募集し、大学生～社会人までの7名の応募があった。事前に数回ミーティングをし、国際フォーラム当日はリーダーシップを発揮した。

②アジア太平洋の若い女性リーダー養成事業

2018年7月から8月にかけて、アジア太平洋地域のYWCA間の交流を深め、平和を作り出す人材を育成することを目的に、オーストラリア、韓国、タイ、台湾、ネパール、フィリピン、ミャンマーから7名の若いスタッフ・会員を迎えた。大阪YWCA専門学校日本語夏期集中コースで3週間学びつつ、YWCAが提供する各種プログラムに参加。千里で行われたWelcome Partyでは、ホテルのビュッフェのような食事が並び、来日した7名のメンバーがそれぞれのYWCAの活動の紹介を行った。8月のピースフェスティバルでは、国際フォーラムのために来日した世界YWCA副会長のアンドレア・ミシェル・グラディス・ディアスの「女性と少女のための安全空間～世界の共通目標のために～」をテーマとした講演を中心に、シスターフードプログラムメンバーのスピーチ、民族舞踊のパフォーマンス、各国のスイーツ屋台など、盛りだくさんの内容となった。

滞在中はホームステイ家庭にお世話になり、生活を共にしながら日本文化に触れる機会も得た。

③若い女性の国際フォーラム

プロジェクトの集大成として「若い女性の国際フォーラム“Girls Power for Peace”」を2泊3日で実施し、密度の濃い出会いと相互啓発のときをもった。ホンジュラス出身のアンドレア・ミシェル・グラディス・ディアス（世界YWCA副会長）、アジア太平洋地域のYWCAメンバー、姉妹YWCAの韓国大田YWCA、釜山YWCA、中高生～おおむね25歳の日本人参加者、在阪留学生など総勢48名の参加があった。グループワーク中心のプログラムを通して参加者の中に連帯感が生まれ、共に平和と身近な社会的課題をより深く考える機会となった。

その後、フォーラムリーダーとして活躍したメンバーが、日本YWCA主催のユースプログラムに参加して他市Yメンバーと協力関係を築いたり、ニューヨークで開かれる国連女性の地位委員会（CSW）に日本Yから派遣されたり、ユース活動再興の芽が芽生えつつあり、定例のグループ活動も始まった。

大阪YWCAの100周年記念事業にふさわしく、YWCAの国際的ネットワークを十分に活用した企画となった。YWCAの創設の原点にある「若い女性のエンパワメント」を、現在の大阪YWCAの資源を活用して実施することが出来た。

I. 教育事業

1. 専門学校事業

全日制総合日本語コース(本科)は、モーニング会話クラスや午前中のみの聴講生も含め、春期6クラス84名、秋期7クラス103名と今年も盛況であった。今年度も、漢字・非漢字圏に関わらず、初級から中級レベルの学生向けに漢字クラスを週2~3回行い、日本語力の底上げに取り組んだ。進路面では、早い段階から進路相談を実施したり、進学相談会(外部団体主催)に参加したりと、きめ細かな指導を行なっている。

生活面では、入学時オリエンテーションをはじめ、生活相談等、学生個々の状況に応じてサポートしている。その他、在留期間更新のための書類作成指導や来日直後に必要な生活用品の無料配布コーナー設置等にも取り組んだ。

イブニングコースは春期、秋期とも5クラスを開講した。日本の企業で働いている外国人がほとんどだが、日本人の配偶者や永住者も受講した。国籍は中国、台湾、香港、韓国、ラオス、タイ、ベトナム、インドネシア、インド、ミャンマー、マレーシア、ネパール、フィリピン、モロッコ、アメリカ、イギリス、ドイツ、イタリア、フランス、スイスと多彩で、年齢も10代から60代まで幅広い層が在籍している。日本語能力試験準備コースは、能力試験の日程に合わせて、4月~7月、9月~12月の2期、N1クラスとN2クラスを開講した。夏期集中コースは、100周年記念シスターフッドプログラムの7名が参加したほか、中国、台湾、韓国、フィリピン、モンゴル、オーストラリア、イギリスから計20名が集まった。日本語のレッスン以外にもお好み焼きパーティーやクッキー作り、インテリア雑貨作り、ちぎり絵のうちわ製作などのオプションプログラムを楽しんだ。

プライベートレッスンでは企業からの依頼が多数あり、出張レッスンも多かった。ビジネス日本語コースは、春・秋期とも定員に満たなかったため開講できなかった。来年度は、企業のニーズをリサーチするなどして、広報に力を入れたい。

◇奨学金

今年度も日本学生支援機構、大阪YWCA奨学金、大阪YWCA留学生里親の会奨学金、鈴木保奨学金それぞれの選考及び支給を行った。さらに100周年記念事業として100周年記念奨学金も支給した。

多くの方々のご協力、ご寄付により、奨学金を支給することができた。これからも、志高い勤勉な学生を一人でも多く経済的に支援していけるよう、努力を続けていきたい。

恒例となってきた温かいランチスープは月一回のペースで行っている。美味しいと好評で毎月のスープの日を楽しみにしていただいている学生も増えてきている。

2. 日本語教師を養成する事業

(1) 日本語教師養成講座

2018年度は「日本語を教えたい人のはじめの一步」という講座を春・秋期に設けた。これまで日本語教育とは縁のなかった人にも幅広くアピールして日本語教師という仕事に興味を持ってもらうため、日本語教師養成講座のダイジェスト版、かつ広く興味を持ってもらえそうな内容を設定した。開講当初は少なかった受講生も回を追うごとに少しずつ増え、最終的には日本語教師養成講座に進学する者も現れた。

日本語教育と日本語教師を取り巻く環境は大きく変化している。2019年度はより実践力が身につく講座を目指し、応用・実践的な授業を新設して再編した2年制の新しいカリキュラムで講座を開講する。

(2) 日本語教師会

日本語教師会は、地域の国際交流協会等での日本語ボランティア向け講習会や日本語教室への講師派遣を今年度も活発に行った(計12件)。

大学等では、新たに神戸山手大学「就職のための日本語トレーニング」に協力、相愛大学やホンダテクニカルカレッジ関西、昨年に引き続きトラベルジャーナル学園の日本語授業のほか、企業の日本語研修にも講師を派遣した。

教材開発では、Jリサーチ出版の既刊「日本語能力試験N2聴解必修パターン」「くらべてわかる日本語表現文型辞典」を増刷した。

また、昨年に引き続き、台湾の留学生仲介機関・日本村主催による「学校説明会・採用説明会」を3回行い、新たな会員獲得に努めた。

大学の講師によるセミナーとしては、昨年に引き続き「夏の日本語教育セミナー」を実施した。また、「日本で子育てをする国際結婚家庭における親の教育姿勢とその影響ーミャンマー人母親二人の事例比較ー」「こどもの日本語について考えよう~アルゼンチンの日本語教育事情から~」「日本語教師のためのイラストセミナー」

を実施したほか、大阪市立総合生涯学習センターと共催で「識字・日本語ボランティアのためのスキルアップ講座」(6年目)を行った。「日本語教育能力検定試験対策講座」「日本語初級/中級文型の教え方講座」も例年通り開催した。

研修会・研究会関係では、「文法・構文研究会」、大阪YWCAで初めて教える会員を対象にした「新人研修プログラム」を実施した。

3. 生涯学習の各種クラス・講座

「子どもと子どもの本の講座」は、昨年と同様「子どもと本をつなぐ基礎コース」4ユニットと「図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース」2ユニットに分けて実施した。全ユニットを受講する熱心な参加者も多かった。山本淳子講師の「子どもとわらべ唄」は毎年人気が高く、リピーターも多数あった。「児童文学をたのしむ特別講座」は昨年度と同じく11回開催した。上田由美子講師の「アリソン・アトリー」や「クリスマスのおはなし」も盛況であった。

韓国語講座は、昨年度までであった中・上級クラスを廃止し、初・中級と上級レベル2クラスに再編した。各クラスとも継続受講生がほとんどである。また出張授業として、吹田市にあるシニア向けカルチャー教室の韓国語講座を昨年に引き続き担当した。

英語講座は今年度開講しなかったが、ベトナム語講座を新しくレギュラークラスとして開始。春期は「はじめてのベトナム語」というタイトルで初心者向けに開講。秋期は「はじめてのベトナム語 初級編」と題し、春期の続きとして開講した。

今年度は100周年記念講演会として、「私たちに求められていることば～子どもの本の活動を通して～」、「多様性を認めその中で対話を紡ぎだしていくこと」、「女性が主役になりはじめた時代～大正期における生活改善運動～」の3講演を開催した。また、奥西峻介講師の協力により「映画を楽しむ会」を1回実施。映画「女神の見えざる手」について感想や考えを語り合った。

俳句講座は高浜虚子の孫、松田美子講師を迎え、梅田と千里で交互に毎月行っている。10月には奈良吟行会を行い大勢の参加をいただいた。日々の生活が心豊かになると好評である。

II. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

1. 人材育成・研修事業

(1) 人材育成・研修事業

「ソーシャルワークセミナー」は、昨年度と同様、「傾聴力養成コース」と「支援力養成コース」の2コースを開催し、両コースとも熱心な受講者に恵まれた。発達障がいをもつ子どもたちの理解と支援を学ぶ支援力養成コースには、生徒対応に生かすため、専門学校の教職員からの応募も多数あった。

新たに、楽しくSDGsを学ぶための公開講座「カードゲームで楽しく！SDGs体験講座」を実施。大学生から企業の研修担当者など幅広い層が参加し、大いに白熱したプログラムとなった。企業からの依頼で、マネジメントやビジネスライティングの研修も引き続き提供している。

(2) 自立・就労に向けた若者と親の支援事業(独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業)

特性や生きづらさを抱えた若者の就労を軸にした総合的支援を目的として、ガールズSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)、オーダーメイド型相談事業「自立・就労応援プログラム」を実施した。

ガールズSSTは、合宿4回を含む計6回実施。16～23歳の10名とともに様々な学びを得た。相談事業では、14組の相談を受けた。困難な状況にある人々に対して相談を丁寧に取り組むよう心がけ、専門家の助言を受けながら実施した。

2. 平和・環境についての学習と啓発事業

4月、原水爆禁止世界大会起草委員長を務める富田宏治氏を講師に、核兵器禁止条約に関する講演会を開催。条約採択の経緯や意義を詳しく学んだ。「気軽に憲法について語れる場を」との思いから始まった憲法カフェを今年度も3回(6月、9月、1月)開催。講師は大阪自由法曹団の協力により弁護士を派遣していただいた。参加者が積極的に話し合い、実りある会となった。10月、コープこうべ協力の下「食品ロス」に関する勉強会を開催した。

また、連続学習会「大人の社会科」を2回(2月、3月)開催。女性の100年史をテーマとし、女性の権利獲得のための100年の近現代史を学んだ。3月定期会員集会後のプログラムでは、フリージャーナリストの西谷文和

氏を講師に講演会を実施。紛争地の現状報告や平和の作り方を考える場を持った。

3. 国際的な諸問題についての学習と啓発事業

パレスチナグループは、「りさ〜ら」（アラビア語で「手紙」「伝言」）を発行。2月に開催されたワン・ワールド・フェスティバルで配布した。

4. 東日本大震災被災者支援

恒例のチャリティーライブ「stand by you vol.6」は、3/3(日)に雲州堂にて開催。3/9(土)には、被災地に思いを馳せ、継続支援の必要性を訴える目的で街頭募金を行った。今回は場所を変更しJR天満駅前にしたが、人通りが少なかったため、次回の募金場所の検討が必要。

被災地の子どもたちを大阪に招くリフレッシュプログラム「第12回大阪わいわいステイプログラム」は、3/27(水)～4/1(月)の5泊6日で実施した。大阪YWCAが主催するキャンプに参加して思いっきり外遊びをしたり、ミニスクールでは大阪の子どもたちと一緒に英語劇に挑戦したりした。わいわいステイへの資金、被災地に思いを寄せる目的で東北の菓子やその他加工食品の販売も行った。

Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

(1) グループパレット（知的障がいをもつ女性たちのグループ活動）

今年で37年目を迎えるグループパレットは、知的ハンディキャップのあるメンバーが委員会に参加し、企画にも積極的に関わっている。ボランティアと協働して誰もが自分らしくいられる場をつくり、実施することをめざした。月1回の例会は、毎回メンバーとボランティアが担当をとり、メンバーも主体的に関わっている。今年度は、水族館や箕面の滝などへの外出プログラムのほか、YWCA室内でのクッキング、クラフトなどを楽しんだ。また、毎年恒例の家族の集いを8月に開催、30年振りに参加した保護者もあり、賑やかに交流を深めた。

クリスマスバザーでは今年もパレットSHOPを出店し、例会で製作したクリスマスリースや委員が製作した手芸品等をメンバーが販売。その他、バザーの食堂でも多くのメンバー・ボランティアが働き人としても活躍した。今年度の一泊旅行は、ガールズSSTと合同で淡路島へ出かけた。若いガールズSST参加者と交流をすることができ、また、お弁当を作っている就労移行支援事業所や作業所が運営する喫茶店を訪問し、障がいのある人が働く現場を知ることができた。今回のプログラムをきっかけにガールズSSTの参加者数名がパレットに参加することとなり、活気が出てきている。

2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

(1) むらさきつゆくさの会（視覚障がい者のための生け花の会とガイドヘルプ）

視覚障がい者のための生け花講座むらさきつゆくさの会は、中山文甫会のご協力のもと毎月1回開催している。20代から80代までの幅広い世代の受講生13名と9名のボランティアが楽しく活動しており、5月には講座に関わる全ての人と昼食や手作り菓子などをいただきながら交流会を実施した。2019年には25周年を迎え6月に記念行事を開催予定で準備を進めている。

(2) リーディンググループ

リーディンググループは、メンバーの減少で活動を継続することが難しくなったグループもあるが、依頼図書音訳奉仕や朗読を続けている。「わ」は11月に千里「いこいの集い」に出演した。

(3) 点字子ども図書室

今年度も多くの児童書を点訳し、全国へ貸し出しをしている。2018年度現在までの蔵書数は3543タイトル、7008冊を数える。例年通り、統合教育を行う小中学校の算数・数学・理科の教科書の点訳、金蘭千里中高のボランティアクラブで、点字講習を行っている。毎週、約50名のボランティアが元気に活動を継続している。

3. 高齢者の社会参加を促進する事業

千里ボランティア委員会は、地域やシャロン千里内で様々なボランティア活動を展開している。隔月（奇数月）

に実施している地域の高齢者を対象としたお楽しみプログラム付き昼食会「いこいの集い」や、毎週木曜日に「配食サービス」のお弁当を作り届けることで、地域との交流の輪が広がっている。ただ、年々参加者や配食利用者の数は減少しており、今年はちらしを作成し近隣へ呼びかける等広報にも力を入れている。ケアハウス入居者に対する「おしゃべりルーム」は入居者が積極的にかかわり、他団体のボランティアグループとYWCAメンバーが協力しプログラムを作り上げている。デイサービス喫茶ボランティア「シャロンカフェ」はボランティア不足が課題となっているが月数回実施している。井戸端カフェ茶話茶話、シャロン千里につどう人たちのコミュニケーションの場として毎月2回玄関ロビーで開店。手作りのケーキとお茶、ボランティアとおしゃべりを楽しみにしているケアハウス入居者にも定着している。

今年のボランティア研修は、シャロン千里デイサービス職員の磯田登志美氏をむかえ認知症について考える時間をもった。また、主催講座は3月にがん看護専門看護師の先駆者である田村恵子氏を迎え、講演会「希望は必ずある く死その時まで人は生きる」を実施した。田村講師はメディアにも出演経歴があり知名度が高いことや読売新聞に掲載されたこともあり、100名を超える参加者があり大変盛況であった。

4. DV被害女性の支援事業

今年もステップハウス元入居者を招いてクリスマス会を行った。自立をした彼女たちが生き生きと現在の生活の様子を語る姿に、力強さを感じた。昨年度に引き続き大阪府共同募金会からの助成金を受け、ステップハウスリビングルームのエアコンを新しくすることができた。年次レターはNo.12を発行。

主催講座のくれよん月例会「私らしく咲く」は、計11回開催。年間テーマを「共感」として、共感の大切さや、こころの健康に及ぼす効果について考えた。啓発ピンバッジ「オレンジ・パープル・リボン」は非暴力週間に合わせて、男女共同参画センターを含めた複数の団体からの申込があった。

ステップハウスは、電話による相談、入居問い合わせの数は増加しているものの、入居にはいたらなかった。委員会では昨年度よりステップハウスの運営についての協議を重ねた結果、2018年度末で活動を終了することを決定。次年度については、引き続き、講座や女性への暴力に関する啓発活動を継続すると共に、多様な年代の女性へのエンパワメントにつながる活動を模索していきたい。

5. 中国残留邦人等への支援事業

(1) 近畿中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託事業）

中国帰国者Ⅰ世代からⅢ世代まで、年齢や生活環境など多様な背景を持つ中国帰国者への支援を実施するため、日本語学習、交流、就労など、必要とされる様々な支援を行った。

日本語学習支援として、春夏期、秋冬期ともに11コース16クラスを開講し、約200名が登録、毎月延べ約600名が来所した。1世代が受講する日本語クラスでは、「地域生活で使える日本語の習得」を目指し、ボランティアの協力の下、日本語で交流を持つ「会話交流」を実施した。また、就労世代であるⅡ～Ⅲ世を中心としたクラスでは、集中的に学べるコースや上級レベルの日本語コースを開講し、「就職活動」「ビジネス場面」で役立つ日本語が学べるようにした。他にもキャリアアップ支援を目的とした「日本語能力試験」「通訳案内士」の資格取得対策を開講した。日本語クラス以外にパソコンコースも引き続き開講した。特に就労に必要な基礎的な日本語レベルである日本語能力試験2級は試験対策を強化した。これら通学学習課程に参加できない帰国者のためには、遠隔学習課程（通信教育）のスクーリングを実施した。遠隔学習課程のうち、「ホームヘルパー受講準備コース」は当センターが担当。また、地域交流事業としては、Ⅰ世代対象に「朗朗(ランラン)クラブ」を実施した。延べ約250名の登録があり、歌、腰痛予防体操、介護予防体操、和洋裁などに参加している。また、毎週日曜日、受講生が自主的に運営する社交ダンスコーナーではリーダーを中心にダンスを楽しんでいる。このように日本語学習、交流事業を両輪とし、高齢者から若年層まで多様なニーズに応えられるよう取り組んだ。昨年度から始まった介護支援事業「語りかけボランティア訪問」では70名のボランティア登録があり、5ヵ所の介護事業所に毎月ボランティアを派遣した。9月に実施した各自治体職員対象の「近畿ブロック担当者連絡会議」では、23の自治体と厚生労働省から34名の出席があり、支援状況に関する報告、活発な意見交換がなされた。また、3月には「支援者研修」を目的とした「ボランティア研修会」をブロック内の支援ボランティアを対象に実施した。また、普及啓発活動の一環としてシンポジウム「中国帰国者を知る・聞く」を大阪市市内にて実施し、85名の参加があった。地域生活支援推進として、地域で支援活動をするボランティア団体や自治体を訪問し地域事情の理解に努め大阪府、兵庫県主催の支援者研修については研修企画の提案講師紹介、講師派遣等の協力を行った。三重県主催の地域交流事業に出向きサポートした。今年度は関西福祉科学大学、関西大学、関西学院大学等ともつながりができ、次年度にかけて連携協力し交流や普及啓発事業に取り組んでいくことになっている。2017年度から始まった「介護支援事業」では、自治体、地域包括、介護事業所の協力が不可

欠なことから、積極的に訪問し情報交換等を行なった。高齢化する中国帰国者1世代の支援は大きな課題となっている状況から「語りかけボランティア訪問」は中国帰国者と介護事業所双方に大変好評であった。

(2) 大阪市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

大阪市中国帰国者支援事業では梅田本館に高齢者対象の日本語ゆっくりコース4クラス、パソコンコース1クラス、朗朗自習パソコンクラス1クラス、平野区に日本語コース2クラスを開講した。それに加え、平野区および東淀川区でも月に1回、「引きこもり防止」を目的に介護予防体操を実施した。東淀川区では近隣にある総合病院の介護福祉士、ソーシャルワーカーの協力によるプログラムも実施した。指導を受けるだけでなく中国帰国者が中国語を教えるなど相互理解の場となった。合計約100名が在籍し、日本語学習や交流活動に参加している。この他、自立支援通訳・自立指導員派遣事業として月平均約200回を超える派遣を行った。

(3) 門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

門真市中国帰国者支援事業では毎週日曜日、日本語コース3クラスを開講、約35名が在籍している。昨年度から引き続き、学習歴のない人や高齢者の参加を促進するため、“楽しく学ぶ”ことに重点をおいた。支援・交流センターで実施した「学習発表会」に門真教室から多数が参加した。地域のボランティアの協力により、月1回の会話練習を開始した。地域交流を目的に実施している「朗朗門真」には、毎回10～15名ほどの参加があり、社交ダンス、手芸、太極拳、ヨガなどを実施した。日本語学習、交流活動ともに地域ボランティア参加の機会を増やし、教室に参加する中国帰国者と近隣地域とのつながりが深まるよう取り組んでいる。

(4) 京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

京都市中国帰国者支援事業では日本語コース2クラスを開講し10名が在籍。月1～2回、地域に住むボランティアの協力により会話練習を実施している。高齢者対象の「朗朗京都」には、11名が登録、月1回、健康体操などを行っている。

(5) 宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

宇治市中国帰国者支援事業では日本語コース2クラスを開講し10名が在籍。月1～2回、地域に住むボランティアの協力により会話練習を実施している。また、地域社会への参加の1つとして教室がある城南勤労福祉会館の「会館祭り」に毎年参加している。今年度は詩の朗読を発表した。そして、高齢者対象の「朗朗京都」には、11名が登録、月1回、健康体操などを行っている。

(6) 堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業（堺健老クラブ）

堺市中国帰国者支援事業である堺健老クラブは、毎週木曜日3クラスを開講、約30名が在籍している。3クラス合同で行う課外授業には、毎回地域ボランティア数名の参加があり、会話練習、課外活動などを一緒に行った。参加者の高齢化に伴い月に1回は介護予防体操をはじめ地域ボランティアの協力を得ながら多彩なプログラムを取り入れた。交流プログラムには集住地域の自治会長などの参加もあり地域とのいい関係づくりができた。

(7) 京都府中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

京都府からは医療通訳研修会を受託し、1月～3月の間、全7回を実施し、延べ477名が参加した。

(8) 和歌山県中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

和歌山県からは中国残留邦人等帰国者のための日本語交流事業を受託し、3月に関西大学福祉学部の協力のもと浅香山キャンパスにおいて学生、堺市在住中国帰国者とともに餃子をつくり交流した。

IV. 青少年育成事業

1. 青少年活動

「つながる」を年間テーマとして、ハロハロワールドスクール、夏のデイキャンプ、親子プログラム、クリスマス会、春キャンプを行った。

リーダートレーニングは新人リーダーを対象に子どもとのコミュニケーションやプログラム時の危険予知などの内容で2回実施。

(1) 自然体験プログラム

8月は夏のデイキャンプ「マジで！！竹で！！流しそうめんと水遊び」を行った。竹を割って、節を削ってコースを組み立て、本格的な流しそうめんを体験。輪切りにした竹を紙やすりで磨き、絵を描いてマイ器も作成した。そうめんを食べ終わった後は、牛乳パックで舟を作ったり、こども館の庭で水風船や水鉄砲を使って水遊びを行い、リーダーもメンバーもビショビショになって楽しんだ。

親子プログラムは、吹田市立自然体験交流センターわくわくの郷で、大きなバウムクーヘン作りに挑戦した。竹を芯にして生地をたらし、1層1層炭火でじっくり焼き、大きなバウムクーヘンを作り上げることができた。竹からバウムクーヘンを抜いた時は年輪のような断面を見て歓声が上がっていた。

春キャンプ「山は遊び場～食べて、遊んで、ちょっと冒険～」は、豊中市立青少年自然の家わっぱる（大阪府豊能郡能勢町）で実施した。あいにくの雨で、1日目のメインプログラムであった山の探検には出かけられなかったが、館内でのスタンプラリーや写真立て作りなどを楽しんだ。2日目は、ダッチオーブンを使った鶏の丸焼きに挑戦。火付けや鶏の下ごしらえなどに全員協力して取り組み、焼きあがった鍋のふたを開ける際には、大きな歓声があがった。

(2) 小中学生のための異文化理解プログラム

国際理解プログラム「ハロハロワールドスクール」は6月に「Where is she from?」第3弾としてタイ人のゲストを迎えて実施。タイ式じゃんけんにはじまり、日本でもおなじみのイスとりゲームやハンカチ落としのタイ版、覚えたタイ語を使ってかるたを楽しんだ。また、タイの映像クイズを通してタイの文化、習慣なども学んだ。

12月には「クリスマス☆ザ☆ワールド～ピザと巨大すごろくの巻～」と題し、部屋いっぱい大きなすごろくを作って、世界一周すごろく大会を行った。すごろくのマスの中には「クイズ」や「1回休み」「1つもどろ」と書いたものもあり、「クイズ」に止まると、グループで相談して、熱心にクイズの答えを考えていた。昼食はソーセージやトマト、チーズのトッピングをして、ピザを作り、千里の配食ボランティアの方たちに作っていただいたスープと一緒においしくいただいた。

(3) 子どもミニスクール

「子どもミニスクール」は外部講師や会員の協力を得て様々なプログラムを提供している。今年度は、夏休みに2日、冬休み・春休みにそれぞれ1日、梅田で行った。ストーリーテリング、ネイティブ講師と楽しむ英語のほか、理科実験にて万華鏡の製作、生け花体験、春休みには英語での劇も行った。

2. 子ども図書室事業

毎週水・金曜に子ども図書室を開館。月2回の「ちゅうりっぷくらぶ」では親子でわらべうたや絵本を楽しむばかりでなく、お母さん同士のつながりや図書スタッフとの信頼関係もでき、図書室の利用につながっている。7月には「夏休み子どもおはなし会」、大人を対象にしたものとしては5月、12月に「大人のためのおはなし会」を実施し、好評であった。また9月には、「YWCAライブラリースクール～創作物語をストーリーテリングで楽しむ～」を実施し、大変好評であった。定例の勉強会も継続し、近隣の保育園や小学校等へおはなし会の講師として関わっている。

3. 子育て支援事業

千里子育て支援委員会は、シャロン千里こども館、千里子ども図書室・ちゅうりっぷくらぶと協力・連携しおやこひろばを中心に活動を展開。おやこひろばは参加者が大幅に入れ替わり、低年齢の子ども達を中心となった。低年齢ゆえ当初は早く眠くなる子どもが多かったがその後成長とともにしっかり遊ぶようになり月1回のリトミックも楽しい時間となっている。日本アドラー心理学会家族コンサルタントの松永茅光さんを講師に行っているアドラーdeママズカフェは、毎月子育ての悩みを共有できる貴重な会となっている。今年はテキストを使いながらより専門的に学びを深めている。8月には子ども館と共催で学習支援ルームを開いた。最終日にはマジックショー&カレーのプログラムを行いたくさんの子ども達が参加し楽しい会となった。12月にはクリスマスギフトコンサートとして、おやこひろばのリトミック講師を中心にピアノ&歌にあわせてアートのパフォーマンスを実施。音楽とともに、1枚のキャンバスに花や女の子など次々と様々な絵が描かれ、新鮮なプログラムとなった。また、3月には松井洋子氏を迎え子育て講演会をこども館と共催で実施した。

4. 外国人学生へのホームステイプログラム

専門学校日本語学科の夏期集中コース参加者2名（中国、イギリス）、100周年記念シスターフッドプログラム参加者7名（韓国、台湾、フィリピン、ミャンマー、ネパール、タイ、オーストラリア）、合計9名を対象に、ホームステイプログラムを実施。8家庭でのホームステイを行った。

V. ボランティア養成事業

1. 梅田

様々な世代の交流、会員親睦などの機会をつくっている。

傾聴関連活動は、カフェと訪問傾聴2つの現場で取り組んだ。傾聴カフェ・ラベンダーは、ボランティアが増加したことから昨年減らした月2回を元に戻し、以前の通り月3回ペースで実施。毎年、臨床心理士の井ノ崎敦子氏を招きラベンダーメンバーの研修会も行っている。訪問傾聴・コスモスは個人宅に訪問し傾聴をしている。

クリスマス会は第一部礼拝では井上隆晶牧師（都島教会）からのメッセージをいただき、第二部ではサキソフオンアンサンブルによるクリスマスソングのミニコンサートを開催。その後、会員ルームに移動し手作りランチを一緒に楽しんだ。

梅田会員部所属グループは現在13あり、約100名のメンバーが自主活動を展開している。リーディンググループ、むらさきつゆくさの会、みのり会、英会話サロン、聖書を学ぶ会、スウスの会、いのちを語る会、絵手紙の会などのグループが定期的に活動を行っている。9月からは「皆で手話を学びあう空間作り」をモットーに手話講師の笠井賢一郎氏を中心に手話サークル〈Knot〉が活動を開始した。月2回ずつのペースで定期的に活動している。

この他、中国帰国者の方々と交流を図りつつ水餃子作りを3回行った。その他、ご寄贈頂いたものを利用して7月に紫蘇ジュースを作り、11月にはカリンのハチミツ漬けを作った。また月1回の奨学金委員会のスープの日に合わせて、パラダイス&ランチのパンを販売している。

7月と3月には会員ルームでのミニバザーを開催した。

2. 千里

趣味のグループ生け花、水彩画はにぎやかに活動中。会館大掃除は例年通り6月にボランティア厨房、外回りを中心に行った。ホールは合唱団、こども館は子ども図書室メンバー、ボランティア室は点字子ども図書室がそれぞれ担当した。8月には、昨年に引き続き今年もバックウッズマウンテニアーズのコンサートを実施、毎年楽しみに待っている多くのリピーターとともにブルーグラスの演奏を楽しんだ。12月のクリスマスミニセールはクリスマスの華やかな品々がならんだ。クリスマス会は箕面東教会の加藤太朗牧師を迎えての礼拝と、千里ハンドベルクワイアによるミニコンサート、ゲーム等を楽しみ、クリスマスの喜びを分かち合った。毎年恒例の毛糸の帽子を編んでみよう会は多くの方の協力により約200個の帽子が集まり、歯ブラシ、固形石けんと共に釜ヶ崎に贈ることができた。また、2月には、わいわい亭お楽しみ落語を桂千朝を迎えて行った。

YWCAでの様々な行事に明るい歌声で華を添えてくれている千里合唱団は12月に千里阪急ホテルでクリスマスチャペルコンサートを行った。2019年7月には男声合唱団河童コーラスとのジョイントコンサートを予定しており12月には合同練習もスタートした。その他、毎年恒例の歌声サロンは今年度3回開催。毎回盛況で、開催を心待ちにしている地域の方々やケアハウス入居者はじめ、多くの参加者が、生演奏による伴奏と手作りのお菓子を楽しんでいる。

聖書を読む会、サロン四季、Bridges、文月会の各グループは、それぞれ充実した活動を展開中。文月会は4月にやまぼうし15号を発刊した。また、清拭布、使用済み切手整理、会館清掃、アトリエ創などのボランティアグループは、シャロン千里の入居者や地域の方の参加もあり活発に活動している。

来年は千里50周年を迎えるにあたり、記念イベントを計画している。多くの会員・ボランティアに支えられ長年活動を続けてこられたことを皆で喜び分かちあい、思い出に残る年となるよう努力したい。

3. ボランティアの受け入れ

主には、電話やホームページからボランティアの問い合わせがあり、問い合わせがあればその都度、個別での対応を行っている。1年間のボランティア登録者数は17名。今年度も、クリスマスバザーに特化したバザーボランティア希望者向けの説明会を開催した。

4. バザー

(1) クリスマスバザー実行委員会

12/1 (土) 晴天に恵まれ、会館内はバザーボランティアを含む約 740 名の来場者で賑わった。7 月の実行委員会立ち上げから半年にわたって準備を進め、目標額 230 万円を超えることができた。働き人の高齢化や担い手不足、寄贈品の減少等、課題は残っている。

今年度も入場料は 100 円。入場料収入の半額にあたる 43,575 円を東日本大震災被災者支援のプログラムへ。8 団体に計 55,000 円を外部献金として寄付した。

(2) 千里バザー実行委員会

毎年 6 月に行っているバザーは、年々会員やボランティアにとって体力的に負担となってきたため、リサイクル衣料の受入れを中止することになった。そのため例年の目標額は減額したが、現在の会員の力でできる規模にしたことで皆が余裕をもって働き楽しむことができた。10 月のガレージセールは、前日夜が雨のためテントを出せなかったが、会員・ボランティアの協力により、収益を上げることができた。

VI. 広報

1. 機関紙

発行回数は、定例機関紙 [A4 版 4 頁] 年 5 回、特別号 [A3 版両面] 1 回。

定例版の 1 面は主に外部執筆者にその時々の課題を明確にする寄稿を依頼、2~3 面は、YWCA の関心事や活動テーマを掘り下げる内容となっている。1~3 面で取り上げたテーマは、ライフコースの逆算、女性と少女のための安全空間、セクハラ容認社会から脱却するための提言等。4 面には、専門学校を始め大阪 YWCA に関わる報告を主に掲載した。

連載では、『ぶどうの木』、『YW の窓』を継続し、新たなコーナーとして、会員が自由に趣味やおすすめのものを紹介する『わたしのイチオシ』を始めた。

11 月に行われた大阪 YWCA 100 周年記念式典や、2 月のワン・ワールド・フェスティバルを主眼に、10 度目となる特別号を 11 月に発行。大阪 YWCA のグループ活動の紹介、100 周年の記念メッセージを掲載した。

2. 広報

今年度は 100 周年記念グッズとして手ぬぐいの製作を行った。デザインは公募し、計 7 件応募があった。広報部委員会にて選んだデザインをもとに製作し、100 周年記念式典にて配布した。また、広報グッズとして「大阪 YWCA」と入れたボールペンも製作した。

イベントとしては毎年恒例のワン・ワールド・フェスティバルに出展し、他部署とも連携して YWCA の広報に努めた。大阪 YWCA をアピールする配布物のセットを 500 弱用意し、二日間で全て配布した。今回は、新しくボランティア登録してくれた大学生 2 人も参加し、広報部委員とともに大阪 Y の広報を行った。

3. ホームページ・WEB 関連

今年度の HP からの問い合わせ（専門学校を除く）は、年間 179 件あった。問い合わせ対象で主だったのは社会貢献活動部門のプログラム、講座関連、ボランティア活動、教師会主催の 4 種類だった。専門学校ではインスタグラムの利用を開始し、財団の方でも同じく開始する予定。

VII. 日本 Y ・他市 Y ・他団体関係

今年の世界 YWCA 日は、4 月に実施した 100 周年記念五島列島旅行の報告会を行った。旅行小委員会提供の五島列島のお菓子をいただきながら、写真を交えての参加者の報告や五島列島クイズなどを楽しんだ。YM/YW 合同祈祷週集会は「ユースエンパワメントが世界を変える」をテーマに関西韓国 YMCA で行われた。第 1 部の礼拝では李根秀 (イグンス) 牧師からメッセージをいただき、続く交流会では食事と交流を楽しんだ。各 Y からの出し物では、夏の国際フォーラムのユースリーダー小郷あかり会員がガールズ・パワーアップ・プロジェクトの報告と今後の活動への期待を語ってくれた。3 市 Y 交流会は、昨年度より引き続き日本 YWCA の地域 Y を主体とした活動助成を受け、運営委員を中心とした会員のパワーアップ計画を実施。9 月に六甲山 YMCA で行われた合宿では、各 Y の運営委員会の位置づけと担っている役割等について共有した他、共通に抱えている課題に

ついて考えた。また、熊本YWCAと共にいる全国ユースギャザリングは、今年は熊本で開催。大阪Yからは2名が参加し、スタンプラリーやユースのためのプログラム企画等を行った。このユースギャザリングがきっかけとなり、横浜Yを中心に、大阪や仙台のユースも加わってミュージカルワークショップを3月に行うことになっている。11月には日本YWCAの中国訪問に中山羊奈総幹事が参加し、杭州、上海YWCAとそれぞれが運営している施設等を訪問した。また、中国YWCAと高齢者、ユース、女性のリーダーシップ等をテーマに今後の連携について協議する場ももたれた。シャロン千里の施設見学の依頼も相次ぎ、中国の杭州、広州や韓国のナショナルYが来訪。3月末にはマレーシア・マラッカYWCAのメンバー等8名の訪問を受け、小澤裕子会長によるお茶のお点前で歓迎。両YWCAの活動紹介などを行った。他団体関係では、「ヒバクシャ国際署名推進・大阪の会」に呼びかけ人として加わり、「核兵器なき世界へ～映画とトークのつどい～」に協力した。

I. 教育事業

1. 専門学校事業

(1) 全体概要

◇会議

- *日本語学科受入れミーティング 2回実施 出席延数10名
- *日本語本科ミーティング 4回実施 出席延数22名
- *広報ミーティング 1回実施 出席延数4名
- *予備教育講師会 3/15 出席8名
- *担任会 9/26、3/19 出席21名
- *全体講師会 10/2、3/29 出席63名
- *全体反省会 9/21、3/8 出席61名
- *中間講師会 6/19、12/14 出席59名
- *春期報告会 9/20 出席10名
- *卒業判定会議 3/6 出席10名

◇外部団体合会への参加・出席

- *大阪府専門学校各種学校連合会
 - ・留学生委員会ワーキング会議 (7回) 中山羊奈
 - ・人権教育研修会 (5/25) 川崎仁子
 - ・日本語教育機関向け職業教育理解セミナー打合せ (6/21) 中山羊奈
 - ・留学生担当教職員向け研修 (8/9) 岡本牧子 (講師として)、中山羊奈
 - ・日本語教育機関向け職業教育理解セミナー (8/9) 川野啓、中山羊奈、藤田実余子
 - ・東南アジア8カ国との連携プロジェクト招聘者歓迎会 (11/6) 佐伯玲子、中山羊奈
 - ・専修学校グローバル化対応推進支援事業 外国人留学生採用セミナー (11/7) 中山羊奈
- *全国専門学校各種学校連合会
 - ・近畿ブロック協議会大阪大会 (7/20) 中山羊奈
- *その他
 - ・大阪府主催 基礎資料調査説明会 (5/8) 川崎仁子
 - ・JaLSA (全国日本語学校連合会) 主催 関西教育・文化懇話会 (5/31、2/14) 川崎仁子、藤田実余子
 - ・さんぼう主催 留学フォーラム (6/23) 小出芳生
 - ・エール学園主催 講演会「新しい日本語教育の方向性」(6/28) 川崎仁子、中山羊奈
 - ・大阪大学国際交流オフィス主催 外国人留学生在留審査手続の申請取次等に係る研修会 (7/25) 川野啓
 - ・ECC 国際外語専門学校主催 留学生進学及び就職説明会 (8/6) 清島千春、小出芳生
 - ・シャロン千里主催 ひまわり学級 (8/10) ルイス、アビ、ガン、張顯翰、李承融 (ゲストとして)
 - ・大阪府国際交流財団主催 高等教育機関留学生担当者防災ワークショップ (10/5) 中山羊奈
 - ・文化庁主催 日本語教育大会 (10/13、10/14) 牛江真由子、川崎仁子、清島千春、小出芳生
 - ・京都日本語教育センター主催 京都日本語学校第51回定期講演会 (10/20) 中山羊奈
 - ・日本漢字能力検定協会主催 ビジネス日本語指導法勉強会 (10/21) 小出芳生
 - ・リードエクスビジョンジャパン(株)主催 教育ITソリューションEXPO (11/7) 川崎仁子
 - ・みらいジュニア天王寺校主催 放課後等デイサービス (12/8) ルイス、許穎弋 (ゲストとして)
 - ・大阪教育大学教職教育研究センター主催 第5回識字・日本語学習研究集会 (1/26) 川崎仁子
 - ・ECC 国際外語専門学校主催 日本語担当者交流会 (2/1) 藤田実余子
 - ・日本語教育学会、日本語教育振興協会主催「現職者研修始まる！～初任、中堅、主任研修の中身教えます～」(2/9) 牛江真由子、佐伯玲子
 - ・大阪府主催 新たな外国人材受け入れに係る制度説明会 (2/15) 川崎仁子、清島千春

◇外部来訪

- *SASUGA JAPAN 株式会社 (8/29) 8名 藤田実余子

◇カウンセリングルーム

カウンセラー：井ノ崎敦子、橋詰知子 相談者数実数：5名 延べ相談回数：27回

(2) 日本語学科・日本語第二学科

◇クラス数/学生数

※モーニング会話クラスを含む。

クラス数		学生数				
		1年	1.5年	第二学科	一般	合計
春期	6	25	20	14	25	84
秋期	7	24	34	14	31	103

◇出身国と地域：

中国、台湾、香港、韓国、ベトナム、タイ、フィリピン、インド、ネパール、
パキスタン、モンゴル、トルコ、イギリス、アメリカ、カナダ、メキシコ、日本

◇進学指導・生活指導関係

内容	回数もしくは日程	出席者数
実力テスト	9回	573 (受験者のみ)
文法テスト	5回	370 (受験者のみ)
定期テスト (5科目)	4回	1304 (受験者のみ)
継続生クラス分けテスト	9/18、3/4	98 (受験者のみ)
新入生クラス分けテスト	9/28、3/26	52 (受験者のみ)
日本留学試験	6/17、11/11	44 (受験者のみ)
日本語能力試験	7/1、12/2	108 (受験者のみ)
校内大学院進学説明会	5/16	7
大学・専門学校進学説明会 (ライセンスアカデミー主催)	6/4	41
校内進学説明会	7/17	34
進学説明会「日本留学フェア in 上本町」(ライセンスアカデミー主催)	8/28	30
第二学科進学説明会	1/11	17
継続生進路説明会	3/5	20
第二学科面接	2/12、2/13	15 (学生のみ)
在留期間更新説明会	2/22	12 (学生のみ)
在留資格更新のための面談	4回	11 (学生のみ)
進路相談	57回	115 (学生のみ)
生活相談	32回	48 (学生のみ)
予備教育：総合科目 4月～11月 19回 英語 4月～11月 29回 数学 4月～11月 29回 物理 4月～5月 4回 化学 4月～11月 10回		
午後2 漢字クラス：4月～9月 (2クラス) 週3回、(2クラス) 週2回 10月～2月 (1クラス) 週3回、(2クラス) 週2回、(2クラス) 週1回		

◇年中行事・校外学習・課外活動プログラム・特別授業

内容	回数もしくは日程	出席者数
入学式 (春・秋)	4/4、10/5	199
校外学習 (春・秋)	5/8、5/9、10/23、10/30	166
健康診断	6/1、6/21、11/13、11/29	178
日帰り旅行	9/19	66
スピーチコンテスト	9/21	80
レントゲン検診	12/13	69
クリスマスパーティー	12/21	96
聴解特別授業	1/30、2/1、2/13	39
会話特別授業 (大宮保育園訪問)	2/13	15
全国専門学校日本語学習外国人留学生・日本語弁論大会	2/15	2
専門学校出前授業	3/5	56
学習発表会	3/8	106
卒業式	3/13	101

◇海外での学生募集 (現地試験・留学院訪問)

- ・ベトナム 2回 ハノイ、ホーチミン、ドンナイ 計3都市 藤田実余子
- ・台湾 1回 台北 川崎仁子

◇イブニングコース

春期：5クラス 30名 秋期：5クラス 36名

出身国/地域：中国、台湾、香港、韓国、ベトナム、ミャンマー、ラオス、タイ、インドネシア、インド、フィリピン、マレーシア、ネパール、アメリカ、ドイツ、イタリア、イギリス、フランス、スイス、モロッコ

◇日本語能力試験準備コース

春期：2クラス (N1、N2) 8名 秋期：2クラス (N1、N2) 8名

出身国/地域：中国、台湾、香港、韓国、ベトナム、タイ、ミャンマー

◇夏期集中コース (7/20～8/8)

3クラス 30名

出身国/地域：台湾、韓国、オーストラリア、モンゴル、イギリス、ミャンマー、フィリピン、タイ、ネパール
オプションプログラム：

ティーパーティー (7/20 19名)、お好み焼き (7/27 28名)、お菓子作り体験 (7/30 13名)、インテリア雑貨作り (8/1 14名)、ちぎり絵うちわ製作 (8/3 17名)、ビニール素材の雑貨作り (8/6 15名)、ゆかた体験 (8/8 16名)

◇プライベート・出張授業 17件

◇会議

イブニング・能力試験準備コース講師会 (4/10 12名)

夏期集中コース 担任会 (7/11 7名)

夏期集中コース 講師会 (7/21 15名)

夏期集中コース 担任反省会 (8/7 5名)

日本語能力試験準備コース講師会 (9/7 7名)

イブニングコース秋期講師会 (10/16 9名)

◇プレイメントテスト

イブニングコース・日本語能力試験準備コース プレイメントテスト (4/6、11他 26名)

夏期集中コース プレイメントテスト (7/20 19名)

日本語能力試験準備コース プレイメントテスト (9/5～20 7名)

イブニングコースプレイメントテスト (10/3～23 30名)

◇奨学金

奨学金名称	受給者名	受給額
大阪YWCA 100周年記念奨学金	ファム チャン チャウ(ベトナム/女)	660,000円(12ヶ月)
文部科学省外国人留学生学習奨励費	ユ ハヨン(韓国/女)	576,000円(12ヶ月)
大阪YWCA 留学生里親の会奨学金	グエン ティ ホアン オアン(ベトナム/女) レ ティ チャン(ベトナム/女)	180,000円(6ヶ月)
鈴木保奨学金	玄 峻山(中国/男) 王 喬侯(中国/女)	150,000円(6ヶ月)
大阪YWCA 奨学金	施 溢文(中国/男) 許 穎弋(中国/女) リ チャン ハ(ベトナム/女) 鹿又 楽偉(中国/男) ルイス アントニオ(メキシコ/男)	180,000円(6ヶ月)

2. 日本語教師を育成する事業

(1) 日本語教師養成講座

◇新規入学者 春期9名 秋期5名

◇在籍数

コース名	外国語としての日本語を知るコース	日本語を教えるコースⅠ	言語と文化を学ぶコース
在籍者数	9	9	7
コース名	日本語の歴史と文化を学ぶコース	日本語を教えるコースⅡ	日本語のしくみを知るコース
在籍者数	12	9	12

◇講義回数(年間総時間数420時間)

外国語としての日本語を知るコース：22回

日本語を教えるコースⅠ：20回

言語と文化を学ぶコース：22回

日本語の歴史と文化を学ぶコース：21回
 日本語を教えるコースⅡ：22回（実習回数20回）
 日本語のしくみを知るコース：20回

◇修了生数 4名

◇プログラム

- *講座「日本語を教えた人のはじめの歩」 全16回（春期12回、秋期4回） 延98名
- *FFP（Foreign Friendship Program） 全90回 延228名
- *日本語本科会話授業 1/25 参加者：5名
- *中国帰国者クラス会話授業 2/9、2/16、2/17、2/24 参加者：8名
- *授業体験（期間：9/18～3/26） 参加者：14名
- *ミニ講座「日本語って、どんな言葉？」9/1、2/23 参加者：8名
- *受講生募集ガイダンス 全9回 参加者：26名
- *個別説明会 延19回 参加者：19名

(2) 日本語教師会事業

- ◇会勢 新規入会者10名 総会員数210名（内休会65名）
- ◇月報「マンスリー日本語教師会」の発行（12回）
- ◇図書・テープの貸し出し状況 図書 44冊、視聴覚教材 5本
- ◇入会オリエンテーション（日本語授業プレゼンテーション含む）（2/9 25名）
- ◇専任講師 佐伯玲子
- ◇専任講師会の実施 計6回
- ◇学校説明会・採用説明会（台湾の留学生仲介機関・日本村主催）（12/6、8、22 延83名）
- ◇日本語教育状況

学校・コース名	教師数			
	春期	夏期	秋期	冬期
専門学校日本語学科全日制	31	—	30	—
〃 モーニング会話	4	—	4	—
〃 イブニング	8	—	8	—
〃 能力試験準備	3		4	
〃 夏期集中		14		
〃 ビジネス日本語クラス レギュラーコース	0	—	0	—
近畿中国帰国者支援・交流センター	19	—	19	—
中国帰国者支援事業日本語コース梅田教室(大阪市)	3	—	4	—
〃 平野教室	2	—	2	—
〃 門真教室	3	—	3	—
〃 京都教室	2	—	2	—
〃 堺 健老クラブ	3	—	3	—
プライベート及び出張授業	17件/教師24名			

◇講座・研修会・研究会・プロジェクト

- ①新人講師研修会 全11回 対象者9名
- ②日本語教師ビギナーのための日本語初級文型の教え方講座 講師：佐伯玲子 全12回 12名
- ③初級文型との違いがわかる！日本語中級文型の教え方講座 講師：佐伯玲子 全12回 10名
- ④2018年度日本語教育能力検定試験対策講座
 講師：島千尋 第一期：全6回26名 第二期：全6回22名 第三期：全7回18名 第四期：全9回19名
- ⑤識字・日本語ボランティアのためのスキルアップ講座（大阪市立総合生涯学習センターと共催）
 講師：金香百合、伊東和子、野村麻里、村井喜久美 全10回
- ⑥夏の日本語教育セミナー 講師：定延利之（8/4）34名
- ⑦セミナー「日本で子育てをする国際結婚家庭における親の教育姿勢とその影響ーミャンマー人母親二人の事例比較ー」
 講師：トゥ トゥ ヌエ エー、真嶋潤子（9/28）19名
- ⑧日本語教師のためのイラストセミナー 講師：児島弥生（3/16）32名
- ⑨セミナー「こどもの日本語について考えよう～アルゼンチンの日本語教育事情から～」 講師：鈴木万理（3/27）25名
- ⑩文法・構文研究会 全11回 メンバー7名

◇外部出張（講師として）

- ①生駒市「日本語学習支援ボランティア養成講座(入門編)」全3回 里井有里、中西久美子
- ②大阪市教育委員会「2018年帰国・来日等の子どもの教育研修+教職員地域研修」全1回 児島弥生
- ③大阪市立総合生涯学習センター「にほんごこんには(基礎レベルの日本語教室)」全60回
伊東和子、大西雅子、大町暁美、田村亜津子、山田登
- ④大阪府教育庁「日本語初級学習者支援講習会」全3回 伊東和子、辻村文子
- ⑤クレオ大阪西「日本語ボランティア コミュニケーション&スキルアップセミナー」全1回 里井有里
- ⑥神戸山手大学「就職のための日本語トレーニング」全17回 竹中順子、筒井理香、山田登
- ⑦相愛大学「日本語特別講座」2クラス 樽井賢治、平野洋子
- ⑧ダイキン工業日本語グループ研修 2クラス 野村麻里
- ⑨天理市立北中学校夜間学級スタッフ研修 全2回 里井有里
- ⑩トータルサービス日本語研修 4クラス 佐伯玲子、野村麻里、堀辺薫、山田登
- ⑪トラベルジャーナル学園日本語授業 10クラス 大西雅子、永持京子、日吉和久、福家枝里、松井治子
- ⑫東大阪日本語教室「日本語ボランティア講習会」全1回 伊東和子
- ⑬枚方市文化国際財団「日本語ボランティア養成講座」全19回 大西雅子、岡本牧子、辻村文子、野村麻里、山田登
- ⑭同上「日本語ボランティア ステップアップ講座」全3回 鈴木万理、林昌子
- ⑮ホンダテクニカルカレッジ関西「日本語能力試験N2対策講座」全4回 中彰子
- ⑯松原市「日本語学習パートナー入門講座」全3回 辻村文子
- ⑰八尾市立八尾中学校夜間学級職員研修 全1回 伊東和子
- ⑱大和郡山市「日本語教室スタッフ スキルアップ講座」全2回 伊東和子、里井有里

◇外部集会・研修参加

- ①日本語教育人材養成研修事業説明会 (4/10) 岡本牧子、川崎仁子
- ②大阪府教育庁 来訪 (5/14) 佐伯玲子、藤原裕美子
- ③日本語教育学会春季大会 (5/27) 川崎仁子、佐伯玲子
- ④ひつじ書房 訪問 (5/28) 川崎仁子、佐伯玲子
- ⑤AJALT 訪問 (5/28) 川崎仁子、佐伯玲子
- ⑥大阪市教育委員会 来訪 (6/6) 藤原裕美子
- ⑦トラベルジャーナル学園 来訪 (7/27) 川崎仁子、藤原裕美子
- ⑧大阪市総合生涯学習センター 訪問 (7/31) 川崎仁子、藤原裕美子
- ⑨相愛大学 訪問 (9/6) 川崎仁子、佐伯玲子
- ⑩トータルサービス 訪問 (11/14) 川崎仁子
- ⑪堺市教育委員会人権教育課 訪問 (11/15) 川崎仁子、佐伯玲子
- ⑫ダイキン工業 訪問 (11/21) 川崎仁子、藤原裕美子
- ⑬カツシロマテックス 訪問 (1/18) 川崎仁子、小林誠二、藤原裕美子
- ⑭神戸山手大学 来訪 (1/30) 佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑮トラベルジャーナル学園 来訪 (2/26) 川崎仁子、佐伯玲子、藤原裕美子
- ⑯千里経営サポート事業協同組合 来訪 (2/26) 川崎仁子、佐伯玲子、藤原裕美子、山下つねよ
- ⑰神戸山手大学 訪問 (3/13) 大町暁美、佐伯玲子
- ⑱日本語教育学会関西支部集会 (3/23) 佐伯玲子

3. 生涯学習の各種クラス・講座

(1) ランゲージ

◇クラス状況

科目	春 期		秋 期	
	クラス数	在籍数	クラス数	在籍数
韓国語	2	9	2	9
ベトナム語	1	14	1	10

◇外部講座

内容	回数
ゆうえる倶楽部(吹田市)	全 54 回

◇外部集会

- ・駐大阪韓国文化院主催 西日本地域韓国語講師研修会 (7/28、29) 藤田陽子

(2) 子どもと子どもの本の講座

◇クラス状況

内容	回数	延人数
子どもと本をむすぶ基礎コース	20	237
図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース	13	178
児童文学をたのしむ特別講座	9	131

◇外部出張（講師として）

- ・茨木市立中央図書館主催 子ども本の読書講座（7/8、11/22）川上博幸、山本淳子
- ・河南町社会福祉協議会主催 読み聞かせボランティア講座（7/31）上田由美子

(3) 生涯学習・教養講座

講座名	講師	回数	延人数
俳句講座	松田美子（俳人高浜虚子の孫・俳誌「春潮」主宰）	11	176
奥西先生と映画を楽しむ会	奥西峻介（大阪大学名誉教授）	1	7
100周年記念講演会	上田由美子（千里子ども図書室代表） 山中京子（大阪府立大学教授） 芹野与幸（㈱一粒社ヴォーリス建築事務所非常勤顧問）	3	188

II. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

1. 人材育成・研修事業

(1) 人材育成・研修事業

◇連続講座

講座名	回数	延人数
ソーシャルワークセミナー「傾聴力養成コース」	10	95
ソーシャルワークセミナー「支援力養成コース」	5	103
カードゲームで楽しく！SDGs体験講座	1	27

◇外部講座

内容	回数	延人数
クボタ教育センター	11	237
イズミヤ	3	25

(2) 自立・就労に向けた若者と親の支援事業 WAM（独立行政法人福祉医療機構）社会福祉振興助成事業

◇プログラム

集会名	日程	参加者数
連絡協議会	5/30	13
打合せ	延12回	延51
ガールズSST①日帰り研修（於：大阪YWCA）	8/26、9/1	37
ガールズSST②合宿（於：国際障害交流センター ビッグ・アイ）	9/22-23	20
ガールズSST③合宿（於：国際障害交流センター ビッグ・アイ）	10/20-21	17
ガールズSST④合宿（於：山西福祉記念会館）	11/17-18	19
ガールズSST⑤合宿（行き先：淡路島）	12/15-16	18
ガールズSST⑥日帰り研修（於：大阪YWCA）	1/19	22
ケースカンファレンス（相談）	延94回	延189
ケースカンファレンス（検討会）	延5回	延37

◇訪問・来訪

訪問	日程	参加者数
WAM内定事務説明会	4/19	約80
就労移行支援センターぜ・す・と	7/4	3
大阪YMCA	7/12	3

WAM2017 年度事業評価ヒアリング	8/21	9
国際障害交流センター ビッグ・アイ	9/7	6

◇外部集会

- ・大阪YMCA主催 発達障がい支援セミナー (7/31) 牛江真由子、木下和江
- ・大阪府専門学校各種学校連合会主催 人権教育研修会 (10/10) 牛江真由子、木下和江

2. 平和・環境についての学習と啓発事業

◇主催事業

プログラム名	講師等	集会日	参加者
核兵器禁止条約って？	富田宏治 (関西学院大学教授)	4/14	28
憲法カフェ	藤井恭子 (弁護士)	6/23	12
憲法カフェ	西川裕也 (弁護士)	9/1	13
食品ロス学習会	井野健太郎 (コプ こうべ職員)	10/2	21
憲法カフェ	安原邦博 (弁護士)	1/12	19
大人の社会科	小澤裕子	2/8	7
戦争はうそから始まる	西谷文和 (フリージャーナリスト)	3/2	43
大人の社会科	小澤裕子	3/9	12

3. 東日本大震災被災者支援

◇プログラム

集会名	日程	被災者からの参加	参加者数
2018 年春 大阪わいわいステイプログラム	3/27～4/1	7	延べ 43
stand by you vol.6	3/3	—	23
街頭募金 於：JR 天満駅南側路上	3/9	—	4

Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

(1) グループパレット (知的障がいをもつ女性たちのグループ活動)

◇2018 年度登録者数 16 人

集会名	集会日	参加人数
例会	年間 10 回	延べ 124
家族の集い	8/26	18
一泊旅行 行き先：淡路島	12/15～16 (土・日)	15

2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

◇点字子ども図書室

	回数/年	延人数
点字図書製作	42 回	1,429
点字図書貸し出し	48 回	155

貸出対象人数	貸出タイトル数	貸出冊数
75	243	421

◇視覚障がい者支援

グループ名	回数	延人数	
リーディンググループ	エコー	8	22
	ぼれぼれ	6	23
	わ	7	29
むらさきつゆくさの会	12	受講生	106
		ボランティア	104

3. 高齢者の社会参加を促進する事業

◇配食サービス

回数/年	配食数/年	総数/年	調理働き人/年	運転働き人/年
48	2,666	3,618	553	207

◇集会

	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
いこいの集い	6	86	310
デイサービスお茶ボランティア	68	69	979
井戸端カフェ茶話茶話	20	98	582
おしゃべりルーム	42	129	402

4. DV被害女性の支援事業

◇ステップハウスを支える会 *会費納入：個人13名 ¥45,000 (15口) *寄付：179,168円 *物品提供：7件

◇生活支援実績 *問い合わせ件数：19件 *電話相談：6件

◇プログラム

プログラム名	回数・集会日	人数
ジェンダー女子会	1	6
くれよん月例会	11	98
クリスマス会	12/15	7(元入居者2)

◇外部集会・研修・会議等

プログラム名	集会日	参加者数(内大阪Y)
大阪市DV施策ネットワーク会議	5/1	50(2)
DV被害者支援ネットワーク近畿定例会	5/22、9/25、12/11、2/26	29(4)
いくの学園理事会	5/7、5/25、3/18	25(3)
いくの学園 保護事業勉強会	8/7	15(2)
シンポジウム『今、困難な課題を抱える女性への支援を前進させるために』	2/17	103(2)

5. 中国残留邦人等への支援事業

(1) 近畿中国帰国者支援・交流センター(厚生労働省委託事業)

◇クラス状況

*通学学習課程(春・夏期 9月末在籍者)

クラス	在籍者数
入門日本語	6
集中日本語A	1
集中日本語B	4
日本語A	8
日本語B	16
日本語C	18
日本語D	14
日本語E	16
日本語F	25
日本語G	18
上級ビジネス日本語	9
日本語能力試験N3対策	8
日本語能力試験N2対策	25
日本語能力試験N1対策	16
通訳案内士受験対策	17
パソコン基礎	7
合計	208

*通学学習課程(秋・冬期 3月末在籍者)

クラス	在籍者数
入門日本語	9
集中日本語A	7
日本語A	4
日本語B	10
日本語C	13
日本語D	13
日本語E	11
日本語F	20
日本語G	11
日本語H	10
上級ビジネス日本語	8
日本語能力試験N3対策	13
日本語能力試験N2対策-A	7
日本語能力試験N2対策-B	15
日本語能力試験N1対策	15
通訳案内士受験対策	16
パソコン基礎	9
合計	191

※遠隔学習課程

コース名	延べ受講者数
ホームヘルパー受講準備	14

※遠隔学習課程スクーリング

コース名	延べ受講者数
続・入門日本語文法文型	22
医療	7
自己表現文型作文	10
近隣交際会話	13
日本語能力試験N2	15
読解の基礎	6
消費生活	8
漢字ゆっくり	14
中卒国語	2
学校	7
日本語発音	14
合計	118

◇その他

- ※通訳案内士クラス フィールドワーク 5/27 行き先：「弥生文化博物館・池上曾根遺跡」 延べ参加者：12名
- ※特別講義 11/18 講師：戸毛敏美（NPO 大阪府日中友好協会副会長）
テーマ：中国生まれ、中国育ちの私たちの使命 参加：45名
- ※通訳案内士受験対策クラス 12/16 体験学習 内容：暮らしの今昔館訪問 参加：12名
- ※朗朗日本語クラス 1/18 体力測定 協力：NPO 健康ラボステーション 参加：18名
- ※Cクラス 会話実習 2/10 参加：7名 2/17 参加：10名
- ※Eクラス 会話実習 2/24 参加：15名
- ※Bクラス 会話実習 3/3 参加：8名 2/24 参加：13名
- ※日曜日クラス 日本語実力テスト 3/3 参加：35名
- ※日本語H・ビジネスクラス 特別講義 3/24 講師：重野亜久里（NPO 多文化共生センター京都） 内容：医療通訳体験
参加：19名

◇地域交流活動・行事

内 容	実施回数	延べ参加人数
朗朗クラブ 和・洋裁・編み物Ⅰ	40	378
朗朗クラブ 和・洋裁・編み物Ⅱ	38	269
朗朗クラブ 日本語	36	626
朗朗クラブ イキイキ体操	37	493
朗朗クラブ 腰痛予防体操	40	260
囲碁・将棋・トランプ	36	246
傾聴会話交流	40	215
社交ダンス	36	605
地域交流バス旅行	1	20
中間学習発表会	1	80
水餃子作り交流	4	48
合 計		3240

◇相談事業 相談件数 566件

◇介護支援事業

- ※実施地域 大阪府大阪市/堺市/東大阪市 兵庫県伊丹市/神戸市
- ※語りかけボランティア登録人数 70名
- ※門真市地域包括ケア会議 9/18 参加：山下つねよ
- ※東淀川区北部地域包括支援センター会議 9/21 参加：山下つねよ

＊語りかけボランティア活動状況

派遣人数	派遣回数	語りかけ対象者数	実施延べ数
110	58	10	198

◇会議・研修会

- ＊全体講師会&中間講師会 全4回
- ＊新人講師オリエンテーション 全2回
- ＊支援・交流センター連絡会議 5/17 主催：厚生労働省 参加：山下つねよ、坂東暁子
- ＊中国残留邦人等への支援に係る全国担当者会議 5/18 主催：厚生労働省 参加：山下つねよ、坂東暁子
- ＊シンポジウム「多様な文化の共生」主催：国際交流基金他 参加：山下つねよ、坂東暁子
- ＊近畿ブロック担当者連絡会議 9/10 主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：38名
- ＊研修会「地域共生社会の実現に向けて」 9/22 主催：大阪市北区社会福祉協議会 参加：山下つねよ、坂東暁子
- ＊中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム 10/20 主催：尼崎市 共催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：200名
- ＊日中友好平和条約締結40周年記念 中国帰国者生活文化作品展 10/29 主催：中国残留孤児援護基金 参加：山下つねよ、坂東暁子
- ＊語りかけボランティア養成研修 2/10 講師：都村尚子（関西福祉科学大学教授）主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：33名
- ＊研修会「地域共生社会の実現に向けて」 9/22 主催：大阪市北区社会福祉協議会 参加：山下つねよ、坂東暁子
- ＊体験を聴く「外国にルーツのある私の思い」主催：八尾市国際交流センター 参加：坂東暁子
- ＊シンポジウム「中国帰国者」について知る・聞く 3/23 主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 参加：85名
 - ・基調講演：大谷昭宏（ジャーナリスト）
 - ・体験報告：長山瑛子（中国帰国者2世）下岡純子（中国帰国者2世）丹野良雄（中国帰国者2世）
 - ・作文発表：田中思恩（中国帰国者1世）青木美沙子（中国帰国者1世）林彦昆（中国帰国者2世）大槻麗子（中国帰国者1世）
- ＊介護支援コーディネーター連絡会議 3/8 主催：厚労省 参加：山下つねよ、坂東暁子
- ＊ボランティア研修会 3/30 主催：近畿中国帰国者支援・交流センター 講師：戸毛敏美（NPO大阪府日中友好協会副会長）
テーマ：「切っても切れない中国と日本」参加：36名

◇外部団体プログラム参加・協力

- ＊近畿支援・相談員合同研修会 10/31 主催：大阪府 参加：山下つねよ、坂東暁子
- ＊八尾市・尼崎市中国帰国者交流会 11/6 参加：山下つねよ、坂東暁子
- ＊兵庫県尼崎日本語教室新年交流会 1/26 参加：坂東暁子
- ＊八尾市中国帰国者新年交流会 2/24 参加：山下つねよ
- ＊ボランティア研修会 1/26 主催：兵庫県 参加：氏原庸子（講師として）山下つねよ、坂東暁子
- ＊尼崎日本語教室「学習発表会」3/12 参加：中西久美子、濱本千鶴子
- ＊三重県地域交流会 3/29 主催：三重県 参加：坂東暁子、金子蘭、茂谷冬暉

(2) 大阪市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
ゆっくり日本語A（梅田）	13
ゆっくり日本語B（梅田）	13
ゆっくり日本語C（梅田）	16
ゆっくり日本語D（梅田）	19
趣味のパソコン入門（梅田）	6
自習パソコン初級（梅田）	8
日本語A（平野）	5
日本語B（平野）	9
合計	89

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
ゆっくり日本語A（梅田）	13
ゆっくり日本語B（梅田）	11
ゆっくり日本語C（梅田）	12
ゆっくり日本語D（梅田）	18
趣味のパソコン入門（梅田）	7
自習パソコン初級（梅田）	5
日本語A（平野）	5
日本語B（平野）	11
合計	82

＊講師数 10名 ＊講師会 年4回実施

＊ゆっくりB・Cクラス会話実習 2/9 参加：16名 ボランティア：2名

＊ゆっくりB・Cクラス日本語ボランティア会話実習（大阪市識字・日本語ボランティアのためのスキルアップ講座の実習とし

て) 11/24 参加:48名

*ゆっくりA・Bクラス 会話実習 2/16 参加:22名 ボランティア:3名

*学習発表会 3/16 参加:51名 (梅田:42名 平野:9名)

*ゆっくりDクラス シンポジウム (中国帰国者について知る・聞く 主催:近畿中国帰国者支援・交流センター)
2/9 参加:16名

◇関係職員等研修・啓発学習

*医療通訳研修会(全7回) 主催:京都府 参加:延べ102名

*大阪市北区民カーニバル出展 主催:大阪市

◇地域交流事業他

プログラム名	実施回数	延べ参加人数
平野朗朗クラブ	9	45
東淀川朗朗クラブ	12	79
中国囲碁・将棋・トランプ (自主活動)	42	458
合計	63	582

◇自立支援通訳等派遣事業 自立指導員派遣回数 延べ135回 自立支援通訳派遣回数 延べ2641回

(3) 門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語A	17
日本語B	12
日本語C	6
合計	35

*講師数 3名 *講師会 4回実施

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語A	17
日本語B	11
日本語C	6
合計	34

◇地域交流事業

*朗朗クラブ 20回 延べ参加者数:193名 登録ボランティア:1名

*社会見学 6/17 行き先:大阪府立阿倍野防災センター 参加:11名

*地域交流バス旅行 9/23 行き先:三重県伊賀市 内容:新米試食&梨収穫体験 参加:42名

*近畿中国帰国者支援・交流センター中間学習発表会参加 9/2 参加:19名

*地域交流バス旅行 3/31 菜花収穫 行き先:三重県伊賀市 参加:36名

(4) 京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語A	6
日本語B	5
合計	11

*講師数 2名 *講師会 2回

*京都市教室開講式 4/22 参加:18名

*城南勤労者福祉会館利用者連絡協議会 7/13 参加:山下つねよ

*城南勤労者福祉会館利用者連絡協議会 9/7 参加:山下つねよ

◇関係機関、地域交流事業等

*朗朗クラブ 5回 延べ参加者:32名

(5) 宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語A	7
日本語B	4
合計	11

*非常勤講師数 2名 *講師会 2回

*開講式 10/4 参加:18名

◇関係機関、地域交流事業等

*朗朗クラブ 5回 延べ参加者:36名

*城南勤労者福祉会館まつり 11/25 参加:13名

*京都府中国帰国者日本語教室運営連絡会 2/28 主催:京都府 参加:山下つねよ、岩井一枝、端野昌彦、森村晃

(6) 堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業(堺健老クラブ)

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語初級1A	11
日本語初級1B	11
日本語初級II	6
合計	28

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語初級1A	11
日本語初級1B	10
日本語初級II	6
合計	27

*非常勤講師数 3名 *講師会 年4回実施

*合同クラス&交流事業ボランティア参加 40回 延べ参加者数:205名

*脳と体のためのフィットネス 全6回 延べ参加:150名

*フラダンス 6/14 参加:29名

*健康吹き矢 9/27 参加:32名

◇地域交流事業他

*校外学習 11/15 行き先:観音山フルーツガーデン 参加:40名

*校外学習 3/14 行き先:伊賀市 内容:菜花収穫体験 参加:36名

(7) 京都府中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

*「医療通訳研修会」を全7回実施した。延べ参加者:477名

	時間	テーマ	内容	講師	参加者数
2/6	10:00~12:00	医療の知識I	薬の知識	桂木聡子	35
	13:00~15:00	医療の知識II	癌の知識	石井豊	41
2/12	10:00~12:00	医療の知識III	高齢者の食事・栄養指導	小川実華	30
	13:00~15:00	医療の知識IV	通訳技術トレーニング①	黒岩千尋 小森巳智子 須磨みのり	34
2/20	10:30~12:30	医療の知識V	終末期医療	関本雅子	39
	13:30~15:30	医療の知識VI	薬の管理と使用方法	桂木聡子	42
2/26	10:00~12:00	医療の知識VII	画像診断	李宏	27
	13:00~15:00	医療の知識VIII	癌の予防と治療方法	石井豊	36
3/6	10:00~12:00	医療の知識IX	通訳技術トレーニング②	黒岩千尋 須磨みのり 森山美幸	29
	13:00~15:00	周辺の知識I	対人援助の心得&ワークショップ	飯田奈美子	37
3/12	10:00~12:00	介護の知識I	介護サービスのながれ (ワークショップ)	東田卓也	33
	13:00~15:00	介護の知識II	介護に関する事例検討 (認知症について)	東田卓也	35
3/20	10:00~12:00	医療の知識X	通訳技術トレーニング③	黒岩千尋 須磨みのり 森山美幸	28
	13:00~15:00	周辺の知識II	葬儀に関する知識 (マナーを含めて)	宇屋貴	31

(8) 和歌山県中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

*地域交流バス旅行 3/20 行き先：関西大学浅香山キャンパス&梅田スカイビル 内容：餃子交流&スカイビル見学
参加：39名

IV. 青少年育成事業

1. 青少年活動

(1) 自然体験プログラム

◇主催事業

プログラム名	場所	集会日	人数
マジで！竹で！流しそうめんと水遊び	シャロン千里	8/19	19
親子で体験竹を使ったバウムクーヘン作り	吹田市自然体験交流センター	9/16	36
春キャンプ 「山はあそび場～食べて、遊んで、ちょっと冒険～」	豊中市立青少年の家 わっぱる	3/30～31	27

◇リーダートレーニング

プログラム名	場所	集会日	人数
子どもとのコミュニケーション	大阪YWCA本館	5/26	4
コミュニケーションと危険予知トレーニング	大阪YWCA本館	8/7	4

◇リーダー会・ワーク

事業名	回数	人数
ミーティング・ワーク	14	66
下見	1	3

(2) 小中学生のための異文化理解プログラム

◇主催事業

プログラム名	場所	集会日	人数
ハロハロワールドスクール Where is she from?～タイ語であそんで、おぼえちゃおう～	シャロン千里	6/10	30
クリスマス☆ザ☆ワールド～ピザと巨大すごろくの巻～	シャロン千里	12/16	20

◇リーダー会・ワーク

事業名	回数	人数
ミーティング・ワーク	7	29

(3) 子どもミニスクール

集会名	日程	参加者数
夏休み子どもミニスクール	7/26、7/27	55
冬休み子どもミニスクール	12/27	16
春休み子どもミニスクール	3/29	26

2. 子ども図書室事業

◇主催講座

行事名	集会日	延人数
春のおはなし会	5/18	21
夏休み子どもおはなし会	7/20	41
ライブラリースクール	9/28	35
大人のためのクリスマスおはなし会	12/14	36
大人のためのミニおはなし会	2/26	22

◇プログラム

プログラム名	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
ちゅうりっぶくらぶ	18	64	339

◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数
おはなしの部屋	10	178
ワークショップ	9	129
第一の会	8	126
第五の会	2	26

3. 子育て支援事業

(1) 千里

◇プログラム

プログラム名	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
おやこひろば	38	130	770
ママズカフェ	11	—	121

◇主催講座

講座名	集会日	場所	人数
夏休みマジックショー&夕食会	8/22	大阪YWCAシャロン千里	79
クリスマスギフトコンサート	12/19	大阪YWCAシャロン千里	45
お母さんが笑顔でいられるための子育て講座	3/8	大阪YWCAシャロン千里	35

4. 外国人学生へのホームステイプログラム

◇ホストファミリー登録数 20 家庭

◇ニューズレター発行 2019年3月

*専門学校日本語夏期集中コース(7/20~8/8)の学生2名(出身:中国、イギリス)、100周年記念シスターフッドプログラム参加者7名(出身:オーストラリア、フィリピン、韓国、ミャンマー、ネパール、タイ、台湾)、合計9名を8家庭で受入。

*同コースのオプションプログラム(お好み焼きパーティー)と修了式(浴衣体験もあり)に協力。

V. ボランティア養成事業

1. 梅田

◇行事

行事名	回数	延人数
クリスマス会	1	29
ミニバザー	2	12

◇作業会

活動名	回数	延人数
発送	12	46
紫蘇ジュース作り	1	8
かりんハチミツ漬け	1	4
水餃子作り	5	62
パン販売	6	7

◇傾聴ボランティア活動

活動名	回数/年	延人数	
傾聴カフェラベンダー	31	来店者	113
		ボランティア	210
傾聴カフェラベンダー研修会	1	14	
訪問傾聴	12	利用者	12
		ボランティア	24

◇グループ活動

グループ名	回数	延人数	グループ名	回数	延人数
みのり会	8	54	スウスの会	10	75
英会話サロン	33	183	いのちを語る会	6	28
聖書を学ぶ会	10	135	絵手紙の会	10	27
手話サークル〈knot〉	7	138			

2. 千里

◇行事

行事名	集会日	延人数
歌声サロン(第39, 40, 41回)	6/16, 10/13, 2/23	170
千里大掃除	6/12	18
夏休み学習ルーム	7/25, 8/1, 8, 22	45
バッグウッズマウンテニアーズチャリティーコンサート	8/25	114
水餃子作り	10/31, 1/18	26
認知症について考えよう	11/13	20
千里クリスマス会	12/11	59
わいY亭おたのしみ落語 桂千朝	2/16	80
田村恵子講演会「希望は必ず見つかる<死>その時まで人は生きる」	3/16	106
東北に思いをはせる集い	3/18	14

◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数	グループ名	回数/年	延人数
会館ボランティア	12	51	使用済み切手整理	11	82
聖書を読む会	10	116	清拭布ボランティア	11	64
合唱団	43	1,523	ブリジッツ	12	67
ハンドベルクワイア	39	444	文月会	11	103
コールセンリ	12	249	アトリエ「創」	19	137
サロン四季	9	54	生花グループ	21	63

◇趣味のグループ

グループ名	回数/年	延人数
生花を楽しむ会	10	113
水彩画	11	71

3. ボランティアの受入れ

◇ボランティア説明

説明会(延人数)		
回数	ボランティア希望	職員
18	42	17
登録者数	17	

4. バザー

(1) クリスマスバザー実行委員会

【開催日】2018/12/1(土) 10:30~14:30 【来場者】約740名(うち、ボランティア・職員約150名)

【内容】企業・団体様、個人の方からの寄贈品、リサイクル衣類、外部からの出店、着物リフォーム作品などの手芸品、手作りお菓子、食堂、喫茶、福引、イベント(似顔絵、街頭紙芝居、キッズダンス)

【外部出店】16店 【達成額】2,335,282円(予算230万円)

*収益の中から、下記のとおり外部の社会貢献活動団体へ寄附をした

釜ヶ崎キリスト教協会	5,000円	そよかぜの家	10,000円	
関西いのちの電話	5,000円	NPO法人いくの学園	10,000円	
パレスチナ子どものキャンペーン	5,000円	チェルノブイリ子ども基金	5,000円	
東日本被災支援(東北へルプへ)	10,000円	在日韓国基督教会館(KCC)	5,000円	以上、合計55,000円

(2) 千里バザー実行委員会

①千里バザー

【開催日】2018/6/2(土) 10:00~14:30 【来場者】約620名(内、ボランティア・職員約110名)
 【内容】企業・団体・個人からの寄贈品、リサイクル衣料、外部からの出店、手芸品、手作りお菓子、食堂、喫茶
 【出店数】5店 【達成額】1,359,074円(予算130万円)

②千里ガレージセール

【開催日】2018/10/27(土) 10:00~13:30 【来場者】約501名(内、ボランティア・職員74名)
 【内容】個人からの寄贈品、リサイクル衣料、外部からの出店、手芸品、手作りお菓子、喫茶
 【出店数】9店 【達成額】900,000円(予算90万円)

*千里バザー実行委員会として、収益の中から下記の通り外部団体や社会貢献活動へ寄付をした

JOCS	5,000円	ライトハウス	5,000円	
釜ヶ崎いのちの家	10,000円	そよかぜの家	5,000円	
シャロン千里子ども館	5,000円			以上、合計30,000円

5. 100周年記念実行委員会

集会名	日程	会場	入場者数	
100周年記念式典	11/3	リーガ・ロイヤルホテル	148	
長崎五島列島の教会群を巡る旅	4/8~11	—	251	
熊本マリ ピアノコンサート	9/29	ザ・フェニックスホール	251	
ガールズ・パワーアッププロジェクト	ビッグシスターズのためのファシリテーター養成講座Ⅲ	5/27	大阪YWCA	12
	第1回 国際フォーラムリーダーミーティング	6/24	大阪YWCA	11
	シスターフードプログラム オリエンテーション	7/20	大阪YWCA	14
	第2回 国際フォーラムリーダーミーティング	7/22	大阪YWCA	8
	シスターフードプログラム お抹茶体験	7/27	大阪YWCA	11
	シスターフードプログラム ウェルカムパーティー	7/28	大阪YWCA千里	40
	第3回 国際フォーラムリーダーミーティング	7/29	大阪YWCA	23
	ピースフェスティバル	8/5	大阪YWCA	40
	若い女性の国際フォーラム	8/10~12	新大阪ユースホステル	47
	ガールズ大集合	2/2	大阪YWCA	10
少女たちのセーフスペースを考える	3/30	大阪YWCA	18	

VI. 広報

1. 機関紙

(1) 発行の概要

- ◇回数 6回(5月、7月、9月、11月特別号、12/1月、3/4月)
- ◇部数 各2,000部、特別号3,000部 ◇サイズ 通常号A4版4ページ、特別号A3版表裏
- ◇配布先 会員・会友、専門学校生、クラス生、講師、賛助会員、賛助会社、各市YWCA、関係団体、講座・集会参加者、大阪市内各女性センター、ワン・ワールド・フェスティバル参加者、他
- ◇広告協力会社 有限会社イースター式典社、株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所、株式会社オフィスインテリア、大阪中央法律事務所、学校法人大阪女学院、株式会社藤木工務店、日本基督教団都島教会

発行月	特集内容		
	1面	2.3面	4面
5月号	女性が切り拓いてきた100年、みんなで創っていく100年 (鹿野幸枝/大阪YWCA代表理事)	定期会員集会報告/新役員紹介	日本語教師養成講座案内/100周年記念長崎五島列島をめぐる旅報告
7月号	超高齢化社会を迎えた今、ライフコースを逆算してみませんか (関根聡/大阪女学院教授)	100周年記念ガールズパワーアッププロジェクト シスターフードプログラム参加者紹介	YWCAフェスタ in 京都報告/2018年度奨学金決定
9月号	女性と少女のための安全空間 (アンドレア・ミシェル・グラディス・ディアス/世界YWCA副会長)	100周年記念ガールズ・パワーアップ・プロジェクト報告	ハロハロワールドスクール/夏休みこどもミニスクール
11月 特別号	女性が切り拓いた100年 みんなで作っていく	大阪YWCAの樹(活動紹介)/100周年記念メッセージ	
12.1月号	セクハラ容認社会から脱却するための提言(伊田広行/立命館大学等非常勤講師)	クリスマスメッセージ/三市Y合同合宿報告	100周年記念式典報告/税額控除案内
3.4月号	平和創造の意志を紡ごう～戦時性暴力や軍事基地をめぐる～ (奥本京子/大阪女学院大学教授)	イースターメッセージ/WAM助成事業報告	日本語教師養成講座新カリキュラムの案内

会員・会友・賛助員・寄付・募金等

1. 会員・会友

◇2019年3月末会員数 284人 ◇2019年3月末会友数 7人

2. 賛助費

◇法人 5社

大阪商工会議所、(株)サンカラー SHIPPING、積水化学工業(株)、(株)大丸松坂屋百貨店、ワツコ(株)

◇個人 109名

有井由紀子、有田悦子、冢石貞子、井口和子、池田洋子、石井由佳子、石神佐知子、伊藤景子、伊藤美都子、岩村明子、岩村友恵、上田賢博、内坂晃、内田のり子、打出啓二、宇都宮ゆかり、江尻美穂子、越後靖子、大菅照代、大空美矢子、大野弘美、大森浩平、岡由紀子、落合保子、梶原汎子、片山純子、神屋敷絹恵、加輪上敏彦、川上光子、河野陽子、貴志慶子、岸田善三郎、北尾敦子、木下暁子、日下部眞知子、國里順子、窪田千晶、栗本丹志貴、黒田朋子、小池りつ子、小島志佐子、後藤ゆかり、木幡敦子、小林千重子、小林直子、西条哲、笹部眞樹、佐藤朋子、澤井良子、ジャクティア ニー富士子、少徳充子、鈴木豊子、関根久子、芹野恵美、高木裕子、高田良子、高橋浩二、滝根圭子、田中英子、田中佐和子、田中義信、田邊昌代、谷川毅、檀上忠子、辻朋宏、寺中裕子、都木直文、徳平眞弓、中川佐知子、中島重徳、中島淑子、永谷恵子、中東洋子、中山ゆかり、波田則子、西名貞子、端野昌彦、花岡千代美、平櫛圭甫、平佐たか子、藤井保男、藤田恭子、藤原智子、藤原裕美子、船越あゆみ、堀西敏子、榊居孝、松江訓子、松下宜代、松島紀代子、松田慶子、松永茅光、松本サナエ、溝邊瑞穂、南憲明、宮澤玲子、宗像千代子、森口清子、安川実千代、安原みゆき、山崎久美子、山崎むつみ、山田章博、山東史子、山本昌子、吉田佳代子、吉田耕平、匿名2名

3. 寄付

◇個人 (大阪YWCA会員を含む)

赤松久子、朝川晃子、足立優子、有井由紀子、栗津純子、栗野陽一、冢本陽一、池田操、池田米、(株)インターワーク アソシエーツ 有山龍作、大岡眞知子、太田三紀子、大西美紀・美代子、大森浩平、岡部順子、小澤裕子、落合保子、鍵山あけみ、片山淳子、川勝宏子、川崎明恵、川野啓、岸田晃子、北島正子、木下和江、金香百合、栗本丹志貴、小林明、小林千恵子、坂田阿都子、阪本和子、坂本富士、笹部昌子、雀部眞理、鹿野幸枝、白井邦子、白川啓子、末吉佳世子、瀧本政子、田口美智、田尻美知、谷佐代子、辻加代、辻川さとみ、徳広彩、仲上幸子、長田文子、西坂恵美、西村由紀子、野村益美、橋本智香子、橋本暢子、平野千代子、広瀬圭子、廣瀬浩二郎、堀河昌子、宮内民郎、三宅克英、宮崎祐、六人部逸子、村井毅、村上和子、村松通子、森垣房子、山根京子、山本淳子、山本宣子、横内いづみ、吉田くすほみ、吉田信子、李鐘壽、匿名5名

◇団体

アトリエ創、(株)アドワン、生花を楽しむ会、いこいの集い参加者一同、歌声サロン参加者一同、梅田会員部委員会有志、NCC-URM委員会、日本基督教扇町教会、日本基督教団大阪城北教会、日本基督教団大阪城北教会CS、藤が丘幼稚園、大阪版編集委員会一同、大阪YWCA大宮保育園、大阪YWCAガレージセール実行委員会、大阪YWCAクリスマスバザー実行委員会、大阪YWCA千里合唱団、大阪YWCA千里クリスマスミニセール実行委員会一同、会員・ボランティア研修参加者一同、日本基督教団核問題連絡会、桂千朝おたのしみ落語参加者一同、カフェ茶話茶話利用者一同、川崎市男女共同参画センター、日本基督教団北千里教会、日本基督教団希望ヶ丘教会、グループパレット有志、傾聴カフェラベンダー、日本基督教団甲東教会エリコの会、コールセンリ、コスモ建物管理(株)、子ども図書室、こども部有志、サロン四季、シックスポイント、奨学金委員会有志、水彩画を楽しむ会一同、聖書を読む会、(社福)泉南市社会福祉協議会、千里委員会委員一同、千里クリスマス会参加者一同、千里クリスマス会席上献金、田村恵子講演会参加者一同、千里チャリティコンサート参加者一同、つながる募金 ソフトバンク、点字子ども図書室一同、(公財)東京YWCA、日本基督教団豊中教会、豊中千里ロータリークラブ、中山文甫会館、(公財)日本YWCA、ネットワーク近畿、俳句受講生一同、配食サービス一同、BACKWOODS MOUNTAINEERS、パレットSHOP、大阪YWCAハンドベルクワイア、東日本大震災被災者支援担当一同、二葉幼稚園、文月会、ブリッジズ、平和環境部委員会一同、ママズカフェ、日本基督教南住吉教会、日本基督教団都島教会、ワツコ(株)

4. 募金（創立100周年記念募金）

◇募金者一覧

浅居幸、朝川晃子、アトリエ創、安藤眞一、イークリニック李雲柱、飯田雅子、家本陽一、池上三喜子、石井摩耶子、石井由佳子、市川道子、乾恵美子、今井美令、今城啓子、上田由美子、上野康子、氏原庸子、内山佳子、江崎啓子、遠藤恵美子、（一財）大阪クリスチャンセンター、（一財）大阪府青少年活動財団、（一財）大阪ボーイスカウト振興協会、（公財）大阪YMCA、大阪YWCA大宮保育園、大阪YWCAこひつじほーむ、大阪YWCA点字子ども図書室、大杉美那子、太田麗子、大見川昭子、岡田三起子、岡部順子、小川孝子、小澤裕子、（一社）ガールスカウト大阪府連盟、（一社）ガールスカウト大阪府連盟長 入澤恵子、ガールズパワーアッププロジェクトチーム、片桐陽、学校法人関西学院、（株）一粒社ヴォーリス建築事務所、加山従子、川崎道子、菊谷恵美子、金香百合、（公財）京都YWCA、日下部充栄、工藤時子、久保京子、倉戸静子、栗原俊子、上月光彦、（公財）神戸YWCA、国際関係開発学科有志、小谷邦子、小林明、金剛静慧、齋藤昌之、坂上信子、坂本富子、佐川尚子、佐久間早苗、笹部真樹、笹部昌子、宍戸百子、（社福）シャローム、職員一同、白川啓子、新庄恭子、関根久子、創立100周年イベント小委員会、創立100周年旅行小委員会、田口美智、田中亀代次、田中礼子、谷川いづみ、谷川毅、谷佐代子、丹野良雄、辻淳、津戸真弓、鶴崎祥子、点訳サークルシックスポイント、永井淑子、中島理依子、中津陽子、永留聡美、奈良いづみ、西村洋子、二谷世津子、（公財）日本YWCA、哈紅、（一財）函館YWCA、原口早和子、日本基督教団東梅田教会、東昌子、久田昌子、日比野京子、平井佐津紀、深堀正博、福島YWCA、藤田陽子、藤原裕美子、帆足文子、堀江緑、堀本千代子、本郷千佳子、巻田和代、牧野悦、幕谷安紀子、待井瑞季、松田維子、松田美子、松永芽光、松山YWCA、三木秀夫、溝手伸子・真理、村上祐子、むらさきつゆくさの会、森明美、森垣房子、森川加也、八木高子、安川実千代、山川文子、山高万寿子、山本淳子、雪田樹里、（公財）横浜YWCA、吉田暁美、吉田くすほみ、吉田信子、リーディンググループ エコー、リー・ヤマネ・清実、ろくてんくらぶ、渡辺成子、匿名4名

5. パザー協力企業・団体

味の素(株)、(株)アドワン、伊那食品工業(株)、井上歯科、(株)インターアークアソシエイツ、乾卯栄養化学(株)、永和信用金庫、ユー・ビー・シー開発(株)、大阪教区教会婦人会連合、大塚製薬(株)、大阪YWCA大宮保育園、(株)オフィスインテリア、(株)神川工務店、関西テレビ(株)、関西よつ葉連絡会、北野整骨院、北千里教会、希望ヶ丘教会、(株)共立メンテナンス、神戸はちみつ園、国際ソロプチミスト大阪、コスモ建物管理(株)、さちこ歯科、(株)三田屋本店やすらぎの郷、シェラトン都ホテル大阪、(有)草楽園、STUDIO A-Sh、スタジオ アージュ、大寅蒲鉾(株)、(株)大丸松阪屋百貨店、ダイワ食堂、大和ハウス工業(株)、大和証券(株)、つばくろ診療所、帝国ホテル大阪、デュプロ(株)、(株)トラベル日本、日本生命保険相互会社、(株)野木、伯方塩業(株)、(株)阪急阪神百貨店、(株)藤木工務店、ブティック QUEQUE、(株)プランニングキュービック、(株)松田商事、丸一食品、山久食品(株)、(株)ユニマットライフ、リーガ・ロイヤルホテル、ワツコ(株)

6. 補助金・助成金（順不同）

助成団体	金額(円)	受入れ先
公益財団法人大同生命厚生事業団	50,000	こども部
独立行政法人福祉医療機構助成金	4,034,000	講座部
社会福祉法人吹田市社会福祉協議会	45,000	点字子ども図書室
社会福祉法人大阪府共同募金会	198,0940	ステップハウス委員会
明治安田生命保険相互会社	100,000	ボランティア委員会
公益財団法人木口福祉財団	970,000	点字子ども図書室
公益財団法人日本YWCA	500,000	東日本大震災被災者支援事業
独立行政法人国立青少年教育振興機構	566,000	講座部

会議等

1. 評議員会

◇評議員 任期2015年6月13日～2019年6月12日

秋山佳子、朝川晃子、太田麗子、片山淳子、川崎知子、辻川さとみ、所佳子、西村由紀子、平井佐津紀、広瀬圭子、深堀潤子、堀河昌子、村松通子、横内いづみ、渡邊成子

◇評議員会の開催

回	開催日	議 案
1	2018年6月9日	第1号議案 2017年度事業報告 第2号議案 2017年度決算報告及び監査報告 第3号議案 2018年4月～5月事業報告 諸報告
2	2019年3月3日	第1号議案 2019年度事業計画(案) 第2号議案 2019年度予算(案)、資金計画及び設備投資の見込みについて 諸報告

2. 理事会

◇理事・監事 任期2017年6月10日～2019年6月9日

代表理事：鹿野幸枝 理事：小澤裕子、雀部真理、谷川いづみ、辻加代、津戸眞弓

常務理事：中山羊奈 業務執行理事：中村友美、山下つねよ

監事：坂上信子、三木秀夫

◇理事会の開催

回	開催日	議 案
1	2018年5月24日	第1号議案 2017年度事業報告 第2号議案 2017年度決算報告及び監査報告 第3号議案 2018年度4～5月事業報告 第4号議案 2018年度第1回評議員会の開催について 第5号議案 新規事業について
2	2018年8月31日	第1号議案 2018年度6～8月事業報告 第2号議案 2018年度4～6月収支明細報告 第3号議案 会計検査院の監査について
3	2018年12月10日	第1号議案 上半期決算及び下半期見通しによる決算見通しについて 第2号議案 日本語教師養成講座のカリキュラム変更について 第3号議案 ユース育成について 第4号議案 日本語教師の処遇改善について 第5号議案 事業報告 その他 ①世界YWCA総会募金について ②中国YWCA訪問報告 ③労働基準法改正への対応について
4	2019年2月21日	第1号議案 2019年度事業計画(案)について 第2号議案 2019年度予算(案)、資金計画及び設備投資の見込みについて 第3号議案 ユース育成について 第4号議案 日本語教師の処遇改善について 第5号議案 評議員会の日程について その他

3. 職員・専任講師

◇職員

総幹事 中山羊奈

幹事 川崎(三國谷)仁子、木下和江(～1月)、中村友美、坂東暁子、山下つねよ、吉本沙矢香

幹事補 池田操(～11月)、上野優歌(12月～)、牛江真由子、奥美和子(12月～)、川野啓(～3月)
桑原静枝、原田千尋、藤田実余子

非常勤 五十嵐裕、岩井一枝、小野美也子、加藤真弓、金子蘭、黒須史江、小村龍男、田中直美、坂東摩波
藤原裕美子、堀奈央美、松下宜代、山本いち子

◇職員会 18回

◇専任講師 専任講師：氏原庸子、清島千春、小出芳生、佐伯玲子

◇専任講師会 6回

4. 設置委員会等

委員会名	回数	延出席数
評議員会	2	36
理事会	4	40
財務委員会	4	51
人事委員会	6	54
運営委員会	11	112
運営委員会役員会	11	49
平和・環境部委員会	8	52
ステップハウス委員会	9	60
こども部委員会	7	37
グループパレット委員会	3	24
ホームステイプロジェクト	3	18
大阪版編集委員会	6	36
梅田会員部委員会	10	73
千里委員会	11	179
会員委員会	5	50
千里子育て支援委員会	6	35
千里ボランティア委員会	6	49
広報部委員会	3	18
奨学金委員会	4	26
東日本大震災被災支援担当	7	43
指名委員会	2	11
100周年記念実行委員会	2	34
100周年全体小委員会	1	5
100周年年史小委員会	5	36
100周年イベント小委員会	3	27
100周年旅行小委員会	1	4
100周年ガールズ・パワーアップ・プロジェクト	6	40

施設維持・不動産管理

◇会館整備

- * 専門学校第2講師室改装工事
- * 受付扉オートヒンジ破損修理工事
- * 事務所フロアコンセント取替え工事
- * 事務所・キッチン換気扇取替え工事
- * 千里ボランティア厨房冷蔵庫固定工事

収益事業

社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会の経営する大宮保育園に対して、本財団の大宮町の土地・建物を貸与。また、同じく同福祉会の事務業務の一部を受託した。

世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA関係

内 容	日 程	参加者数	内、大阪YWCA
世界YWCA日集会	4/24	18	18
YWCAフェスタ in 京都	5/19～20	約 140	12
YM/YW合同祈祷週集会	11/15	55	11
第 10 回日韓YWCAカンファレンス	1/11～14	29	3
杭州YWCA職員来訪	6/7	6	4
広州YWCA訪問団来訪	10/9	7	2
韓国YWCAウンハクの家訪問団来訪	11/22	16	2
マレーシア・マラッカYWCA訪問団来訪	3/29	12	4
大阪女学院中高Y春合宿	3/29	18	1
日本YWCA中国訪問	11/22～26	7	1
第 1 期 L A 企画 3 市 Y 合同合宿ミーティング	4/12、5/10、6/20、8/30、11/19	32	9
第 1 期 L A 企画 3 市 Y 合同合宿	9/22～23	29	2
第 1 期 L A 企画 第 2 回ユースギャザリング in 熊本	10/6～7	約 20	2
第 1 期 L A 企画 ユースギャザリング評価会	2/4	9	3
第 2 期 L A 企画 4 市 Y 交流合宿ミーティング	2/18	16	2
日本YWCA新職員研修会（ステップⅠ）	6/16～18	17	2
YWCA職員研修（ステップⅡ）	1/23～25	18	2
加盟YWCA会長会	5/18	30	1
加盟YWCA中央委員会	5/19	64	7
日本YWCA理事会・役員会・総幹事会合同会議	7/6	22	3
総幹事会	7/5、11/18～19	20	2
総幹事会「研修センター担当チーム」ミーティング	9/23	5	1

* 日本YWCA理事、財政・会館事業部会、建物管理部会：鹿野幸枝

* 日本YWCA理事、財政・会館事業部会、人事委員会：谷川いづみ

* 日本YWCA運営委員：雀部真理、松原恵美子

※ L A（=Local Action）：地域YWCAが主体となるプログラム。2017～2018年度が第1期、2019～2020年度が第2期となる。

外部関係団体

一般財団法人大阪市青少年活動協会、一般財団法人大阪府青少年活動財団、青少年育成大阪府民会議、大阪府キャンプ協会、公益財団法人大阪ユースホステル協会、公益財団法人大阪ボーイスカウト振興協会、社会を明るくする運動実行委員会、特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会、公益財団法人大阪国際交流センター、公益財団法人大阪府国際交流財団、大阪地域留学生等交流推進協議会、大阪府男女共同参画推進連絡会議、大阪市女性会議、大阪市企業人権推進協議会、社会福祉法人関西いのちの電話、大阪商工会議所、特定非営利活動法人いくの学園、大阪市 DV 施策ネットワーク会議、大阪府 DV 施策ネットワーク会議、DV 被害者支援ネットワーク近畿、NPO 法人全国女性シェルターネット、国際女性年大阪連絡会、特定非営利活動法人関西 NGO 協議会、日本基督教団大阪教区核問題特別委員会、大阪キリスト教連合会、大阪キリスト教婦人連合会、NCC 都市農村宣教委員会、全国専門学校各種学校日語教育協会、全国専門学校各種学校連合会、大阪府専修学校各種学校連合会、一般財団法人中山文甫会館、国連ウィメン日本協会大阪、憲法9条の会・関西、九条の会・おおさか、ヒバクシャ国際署名推進・大阪連絡会、学校法人大阪女学院、認定NPO 法人大阪被害者支援アドボカシーセンター、社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会